

(5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 動物

ア. 重要な種及び注目すべき生息地の状況

ア) 野生動植物保護地区の分布

「野生動植物保護地区内訳表」(環境省)によると、岐阜県内には県指定の自然環境保全地域の中に野生動植物保護地区が7箇所存在する。しかし、対象事業実施区域及びその周囲には自然環境保全地域に指定されている地域等はないことから野生動植物保護地区に指定されている地域はない。

また、岐阜県では希少野生生物を保護し、その絶滅を防止することを目的として岐阜県希少野生生物保護条例が定められている。県内には5箇所の保護区が存在するが、対象事業実施区域及びその周囲に指定されている地域はない。

イ) 鳥獣保護区の分布

岐阜県内には、114箇所の鳥獣保護区が指定されている。このうち、対象事業実施区域及びその周囲の指定地域は、表4-2-1-59及び図4-2-1-15に示すとおりであり、16箇所が指定されている。なお、特別保護地区は「0408 松野」、「0409 恵那峡」、「0508 福岡中学校」、「0715 虎溪山」、「1204 土岐」の5箇所である。

表 4-2-1-59 対象事業実施区域及びその周囲の鳥獣保護区一覧

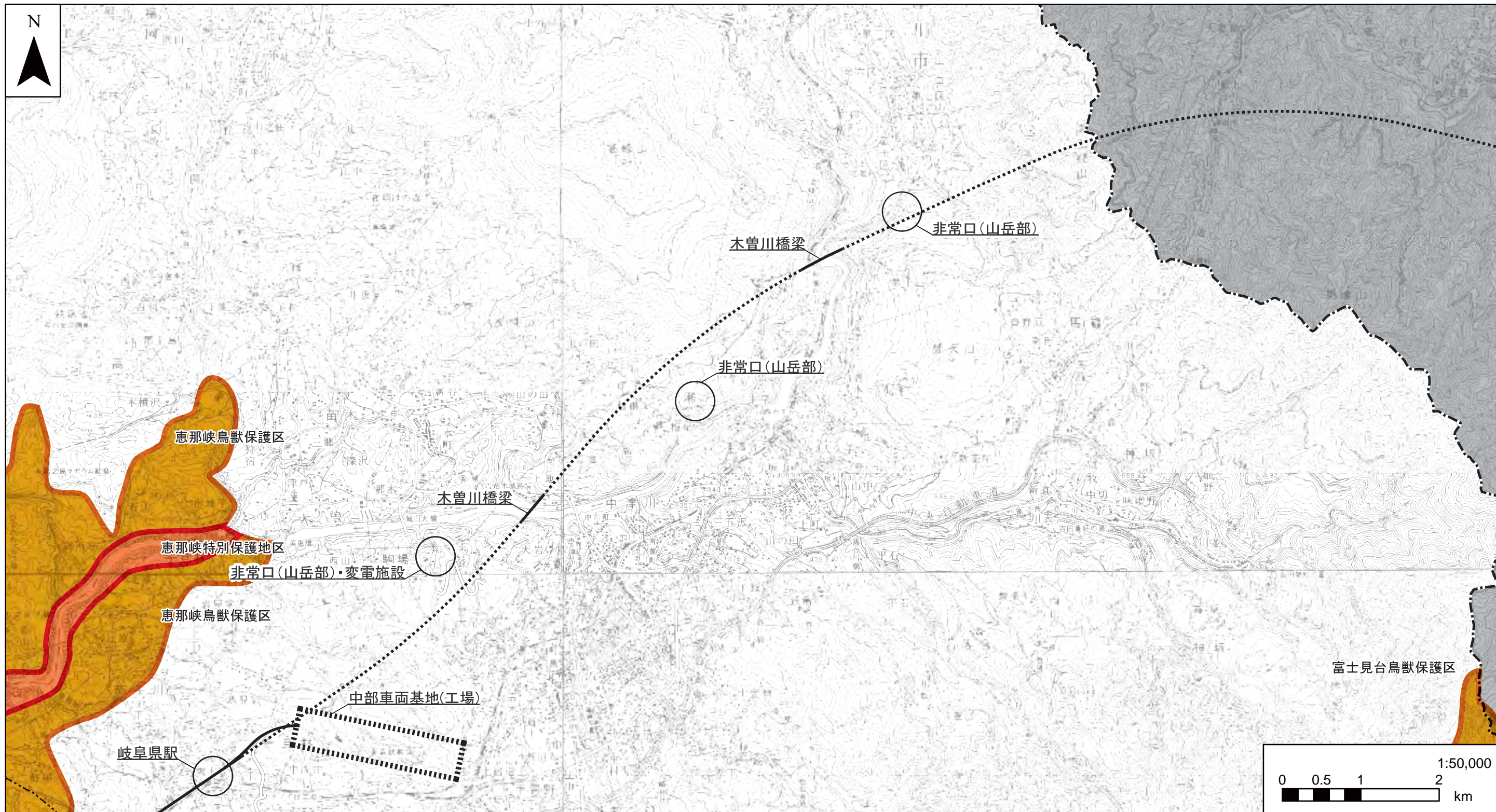
(単位: ha)

No.	名称	設定所在地	設定面積	特別保護地区面積	期間終了年月日
0304	南山	可児郡御嵩町	480	-	平成35年10月31日
0408	松野	瑞浪市、可児郡御嵩町	680	72	平成26年10月31日
0409	恵那峡	中津川市、恵那市	1,860	110	平成26年10月31日
0504	日本ライン	美濃加茂市、可児市、加茂郡坂祝町、川辺町、八百津町、可児郡御嵩町	6,320	-	平成27年10月31日
0506	池田	多治見市	145	-	平成27年10月31日
0507	根ノ上	中津川市、恵那市	620	-	平成27年10月31日
0508	福岡中学校	中津川市	17	17	平成27年10月31日
0715	虎溪山	多治見市	560	41	平成29年10月31日
0805	喜多緑地公園	多治見市	29	-	平成30年10月31日
0806	富士見台	中津川市	125	-	平成30年10月31日
1008	東町	多治見市	39	-	平成32年10月31日
1009	阿木川	中津川市、恵那市	1,935	-	平成32年10月31日
1107	恵那高原	恵那市	695	-	平成33年10月31日
1108	笠置山	恵那市	335	-	平成33年10月31日
1203	釜戸	瑞浪市	377	-	平成34年10月31日
1204	土岐	土岐市	1,157	104	平成34年10月31日

注1. 「No.」は、位置図に掲載されている番号を記載した。

注2. 表中の「-」は、該当がないことを示している。

資料: 「平成25年度 岐阜県鳥獣保護区等位置図」(平成25年、岐阜県)



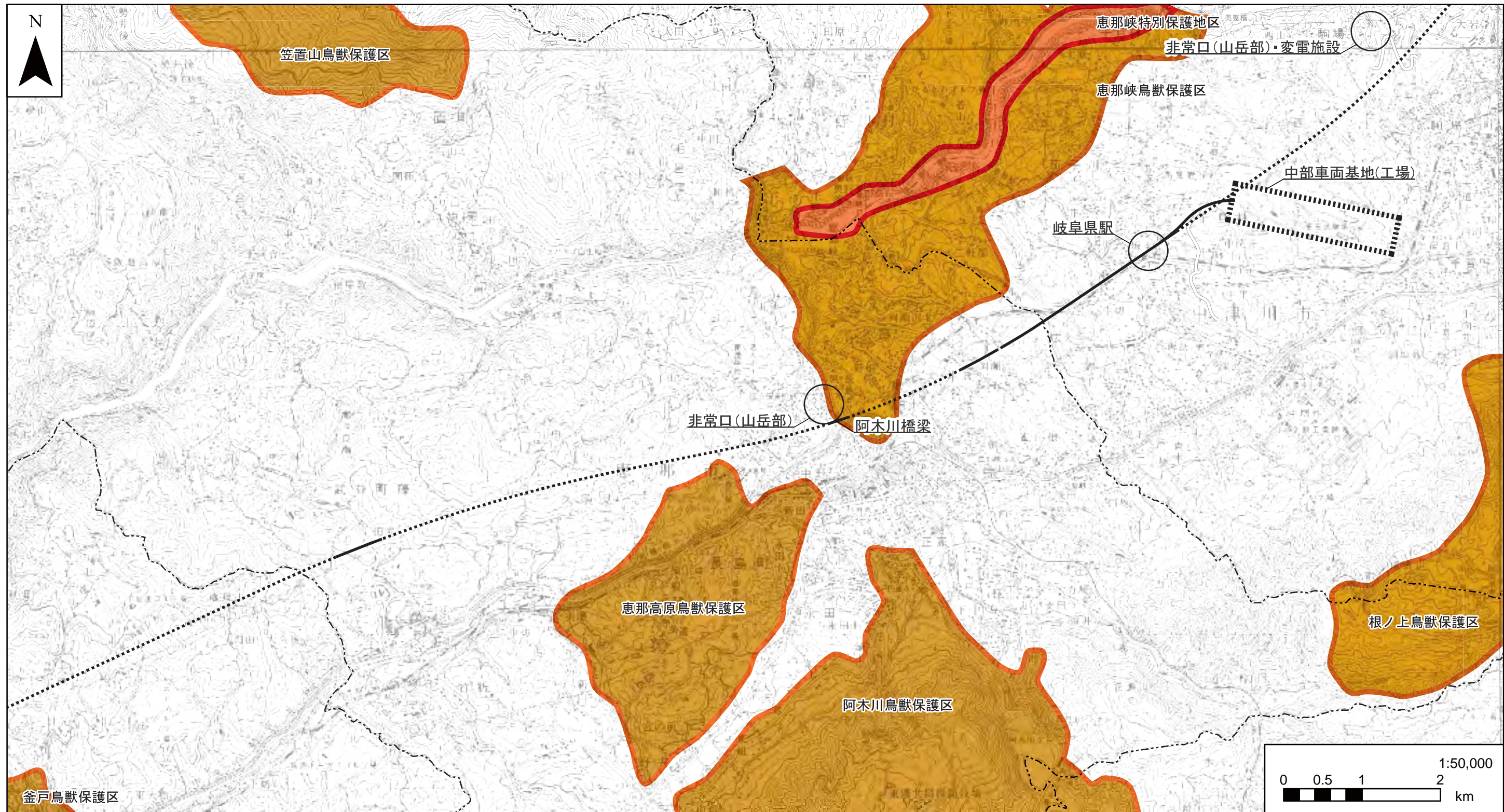
凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境
- 鳥獣保護区
- 特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成25年度 鳥獣保護区等位置図」（平成25年、岐阜県）

図4-2-1-15(1) 鳥獣保護区の指定状況図



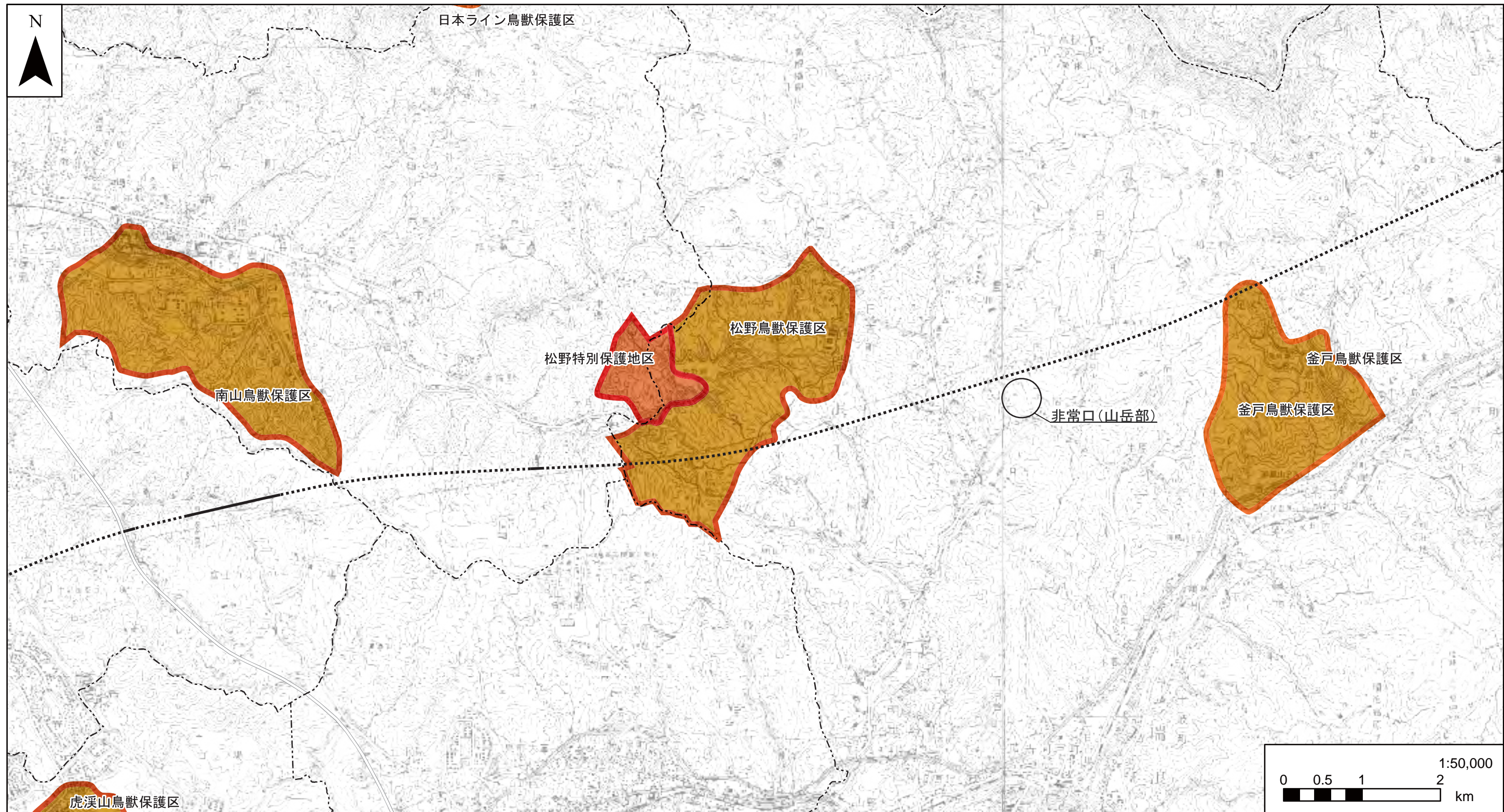
凡例



- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- 県境
- - - 市区町村境
- 鳥獣保護区
- 特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成25年度 鳥獣保護区等位置図」（平成25年、岐阜県）

図4-2-1-15(2) 鳥獣保護区の指定状況図

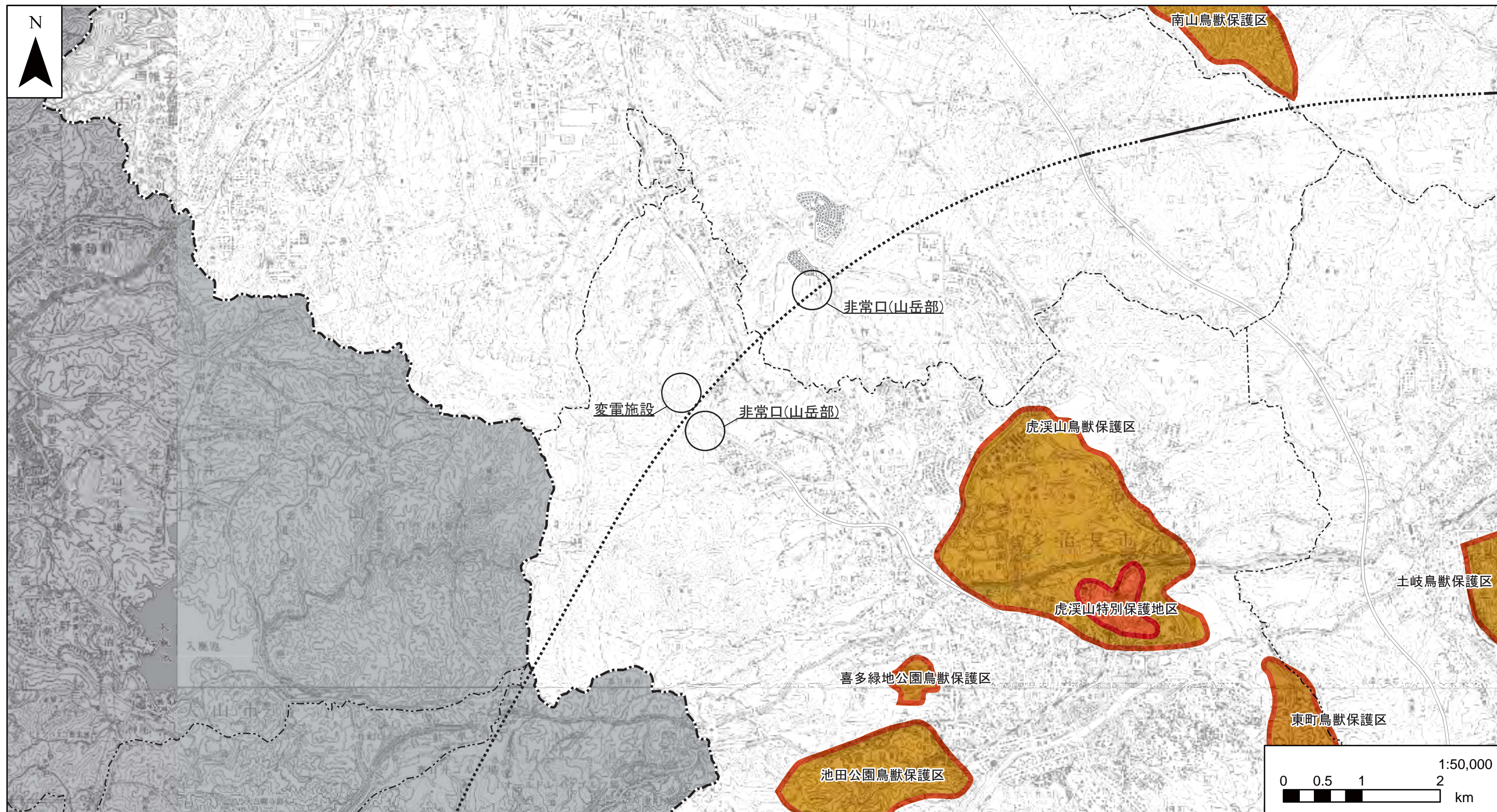


- 凡例
- 計画路線（トンネル部）
 - 計画路線（地上部）
 - 県境
 - - - 市区町村境
 -  鳥獣保護区
 -  特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成25年度 鳥獣保護区等位置図」（平成25年、岐阜県）

図4-2-1-15(3) 鳥獣保護区の指定状況図



- 凡例
- 計画路線（トンネル部）
 - 計画路線（地上部）
 - - - 県境
 - - - 市区町村境

- 鳥獣保護区
- 特別保護地区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成25年度 鳥獣保護区等位置図」（平成25年、岐阜県）

図4-2-1-15(4) 鳥獣保護区の指定状況図

り) 重要な動物及び天然記念物としての動物の生息状況

岐阜県内における哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類の生息状況は、次のとおりである。

(哺乳類)

「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)では、分布調査対象種とされた9種の中大型哺乳類(ニホンザル、タヌキ、アナグマ、ツキノワグマ、ヒグマ、キツネ、イノシシ、ニホンジカ、カモシカ)について、聞き取りやアンケート調査及び既存資料調査によって得られた生息情報をメッシュごとに整理している。

対象事業実施区域を含むメッシュ⁽⁶⁾からは、表4-2-1-60及び図4-2-1-16に示す8種の生息情報が得られている。このうち、カモシカが文化財保護法に基づく特別天然記念物に指定されている。

なお、環境省レッドリスト記載種(以下「環境省レッド」という。)及び「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版ー岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版ー」(平成22年、岐阜県環境生活部)(以下「県レッド」という。)に選定されている種は確認されていない。

表 4-2-1-60 対象事業実施区域を含むメッシュで生息が確認された哺乳類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
サル目	オナガザル科	ニホンザル	-	-	-	-
ネコ目	クマ科	ツキノワグマ	-	-	-	-
	イヌ科	タヌキ	-	-	-	-
		キツネ	-	-	-	-
	イタチ科	アナグマ	-	-	-	-
ウシ目	イノシシ科	イノシシ	-	-	-	-
	シカ科	ニホンジカ	-	-	-	-
	ウシ科	カモシカ	特天	-	-	-
3目	7科	8種	1種	0種	0種	0種

注1. 選定基準

- ①: 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)に定められた種(特天; 特別天然記念物、天; 天然記念物)
- ②: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24年、環境省発表)に掲載されている種
EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- ④: 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版ー岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版ー」(平成22年、岐阜県環境生活部)に掲載されている種
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧I類、絶滅危惧II類、準絶滅危惧、情報不足

注2. 表中の「-」は、該当するものがないことを示す。

資料: 「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)

⁽⁶⁾ 「対象事業実施区域を含むメッシュ」: 地域特性の調査対象範囲は方法書と同様とし、対象事業実施区域及びその周囲に位置するメッシュデータとした。

アナグマ



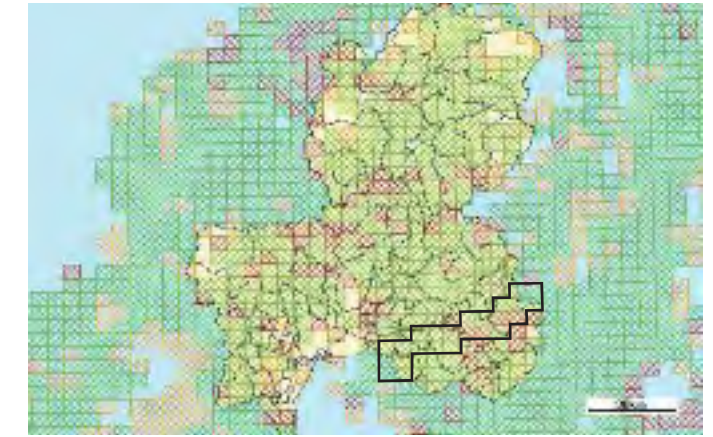
イノシシ



カモシカ



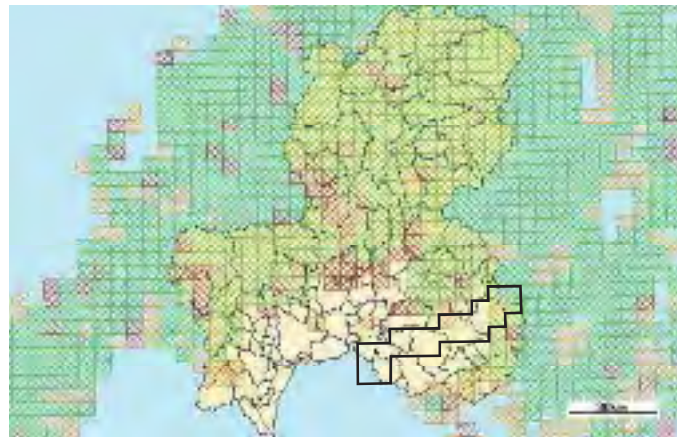
キツネ



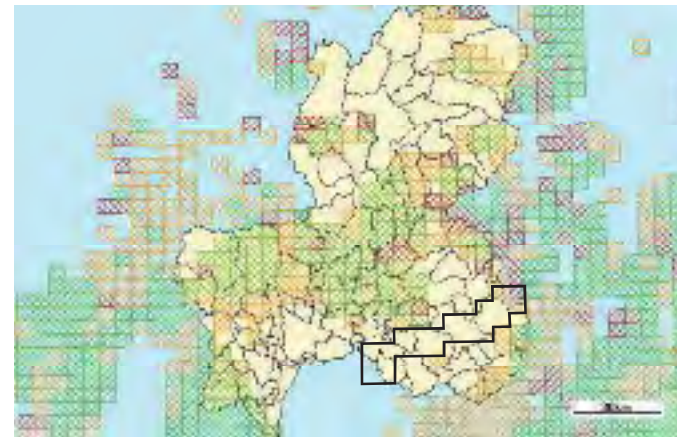
タヌキ



ツキノワグマ







ニホンザル



ニホンジカ



凡例

-  第2回調査のみ確認
-  第6回調査のみ確認
-  第2回と第6回の両方で確認
-  対象事業実施区域を含むメッシュ

資料:「自然環境保全基礎調査 第6回動物分布調査 (種の多様性調査)」(平成16年、環境省)

図4-2-1-16 主な哺乳類の分布

(鳥 類)

「日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査) 動物分布調査(鳥類) 報告書)」(昭和56年、環境庁)は、鳥類の繁殖情報をメッシュごとに整理している。

対象事業実施区域を含むメッシュからは、表4-2-1-61に示す種の繁殖情報が得られている。これによると、文化財保護法に基づく天然記念物はなく、種の保存法に基づく国際希少野生動植物種として、コアジサシ1種が確認されている。また、環境省レッドでは絶滅危惧Ⅱ類はミゾゴイ、サシバ、タマシギ等の5種、準絶滅危惧はチュウサギ、ヒクイナ、ヨタカの3種、情報不足はケリ1種が確認されている。県レッドでは、絶滅危惧Ⅱ類が4種、準絶滅危惧が12種、情報不足が3種確認されている。

表 4-2-1-61(1) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	-	-	-	準絶滅危惧
コウノトリ目	サギ科	ミゾゴイ	-	-	VU	絶滅危惧Ⅱ類
		ゴイサギ	-	-	-	-
		アマサギ	-	-	-	-
		ダイサギ	-	-	-	-
		チュウサギ	-	-	NT	-
		コサギ	-	-	-	-
		アオサギ	-	-	-	-
カモ目	カモ科	カルガモ	-	-	-	-
タカ目	タカ科	トビ	-	-	-	-
		ノスリ	-	-	-	-
		サシバ	-	-	VU	準絶滅危惧
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	-	-	-	-
キジ目	キジ科	コジュケイ	-	-	-	-
		ヤマドリ	-	-	-	準絶滅危惧
		キジ	-	-	-	-
	クイナ科	ヒクイナ	-	-	NT	絶滅危惧Ⅱ類
		バン	-	-	-	-
チドリ目	タマシギ科	タマシギ	-	-	VU	準絶滅危惧
	チドリ科	コチドリ	-	-	-	-
		イカルチドリ	-	-	-	-
		ケリ	-	-	DD	-
	シギ科	イソシギ	-	-	-	-
	カモメ科	コアジサシ	-	国際	VU	絶滅危惧Ⅱ類
ハト目	ハト科	キジバト	-	-	-	-
		アオバト	-	-	-	情報不足
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	-	-	-	-
		カッコウ	-	-	-	-
		ツツドリ	-	-	-	-
		ホトトギス	-	-	-	-
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	-	-	-	絶滅危惧Ⅱ類
		アオバズク	-	-	-	準絶滅危惧
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	-	-	NT	準絶滅危惧
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	-	-	-	-
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	-	-	-	準絶滅危惧
		アカシヨウビン	-	-	-	準絶滅危惧
		カワセミ	-	-	-	-
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ	-	-	-	-
		アカゲラ	-	-	-	-
		コゲラ	-	-	-	-
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	-	-	-	-
	ツバメ科	ツバメ	-	-	-	-
		コシアカツバメ	-	-	-	-
		イワツバメ	-	-	-	-
	セキレイ科	キセキレイ	-	-	-	-
		セグロセキレイ	-	-	-	-
		ピンズイ	-	-	-	-
	サンショウクイ科	サンショウクイ	-	-	VU	準絶滅危惧
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	-	-	-	-
	モズ科	モズ	-	-	-	-
カワガラス科	カワガラス	-	-	-	-	
ミソサザイ科	ミソサザイ	-	-	-	-	

表 4-2-1-61(2) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
スズメ目	ツグミ科	コマドリ	-	-	-	-
		コルリ	-	-	-	-
		ルリビタキ	-	-	-	-
		マミジロ	-	-	-	情報不足
		トラツグミ	-	-	-	情報不足
	ウグイス科	アカハラ	-	-	-	-
		ヤブサメ	-	-	-	-
		ウグイス	-	-	-	-
		オオヨシキリ	-	-	-	-
		メボソムシクイ	-	-	-	-
		エゾムシクイ	-	-	-	-
		センダイムシクイ	-	-	-	準絶滅危惧
	ヒタキ科	キビタキ	-	-	-	-
		オオルリ	-	-	-	-
		コサメビタキ	-	-	-	準絶滅危惧
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	-	-	-	準絶滅危惧
	エナガ科	エナガ	-	-	-	-
	シジュウカラ科	コガラ	-	-	-	-
		ヒガラ	-	-	-	-
		ヤマガラ	-	-	-	-
		シジュウカラ	-	-	-	-
	メジロ科	ゴジュウカラ	-	-	-	-
		メジロ	-	-	-	-
	ホオジロ科	ホオジロ	-	-	-	-
	アトリ科	カワラヒワ	-	-	-	-
		イカル	-	-	-	-
	ハタオリドリ科	スズメ	-	-	-	-
ムクドリ科	ムクドリ	-	-	-	-	
カラス科	カケス	-	-	-	-	
	ハシボソガラス	-	-	-	-	
	ハシブトガラス	-	-	-	-	
14 目	38 科	85 種	0 種	1 種	9 種	19 種

注 1. 選定基準

- ①：「文化財保護法」（昭和 25 年、法律第 214 号）に定められた種（特天；特別天然記念物、天；天然記念物）
- ②：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成 4 年、法律第 75 号）に定める国内希少野生動物種及び国際希少野生動植物種
- ③：「環境省第 4 次レッドリスト」（平成 24 年、環境省発表）に掲載されている種
EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ④：「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）改訂版—岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版—」（平成 22 年、岐阜県環境生活部）に掲載されている種
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧 IA 類、絶滅危惧 IB 類、絶滅危惧 II 類、準絶滅危惧、情報不足、絶滅のおそれのある地域個体群、要注目種

注 2. 表中の「-」は、該当するものがないことを示す。

資料：「日本産鳥類の繁殖分布（第 2 回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）動物分布調査（鳥類）報告書）」（昭和 56 年、環境庁）

(両生類・爬虫類)

「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)によると、対象事業実施区域及びその周囲では、重要な両生類及び爬虫類は報告されていない。

なお、県レッドによると、岐阜県内で確認された両生類は2目7科23種、爬虫類は2目7科14種である。両生類では、岐阜県内で絶滅の危機に瀕している種(絶滅危惧Ⅰ類)はカスミサンショウウオ、ハクバサンショウウオの2種、絶滅の危険が増大している種(絶滅危惧Ⅱ類)はクロサンショウウオ、ナゴヤダルマガエル等の4種、存続基盤が貧弱な種(準絶滅危惧)はヒダサンショウウオ、ニホンアカガエル等の3種、評価するだけの情報が不足している種(情報不足)はナガレタゴガエル、モリアオガエルの2種である。爬虫類では、存続基盤が貧弱な種(準絶滅危惧)はニホンイシガメの1種、評価するだけの情報が不足している種(情報不足)はクサガメ、ニホンスッポンの2種である。

また、対象事業実施区域及びその周囲では、市指定天然記念物として「向山のモリアオガエル生息地」(中津川市)が指定されている。

(昆虫類)

「日本の重要な昆虫類 東海版」(昭和 55 年、環境庁)によると、岐阜県内では 10 種の指標昆虫類と 99 種の特定昆虫類が選定されている。また、「第 2 回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」(昭和 56 年、環境庁)によると、表 4-2-1-62 及び図 4-2-1-17 に示すとおり、対象事業実施区域では 2 種の指標昆虫類と 2 種の特定昆虫類が確認されている。

また、環境省レッドでは絶滅危惧Ⅱ類がギフチョウの 1 種、準絶滅危惧がグンバイトンボの 1 種が確認されているほか、県レッドでは準絶滅危惧にギフチョウとグンバイトンボの 2 種が確認されている。

なお、対象事業実施区域及びその周囲では、文化財保護法に基づく天然記念物等及び種の保存法に基づく国内及び国際希少野生動植物種は確認されていないが、市指定天然記念物として「北小木のホタル」(多治見市)が指定されている。

表 4-2-1-62 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された昆虫類

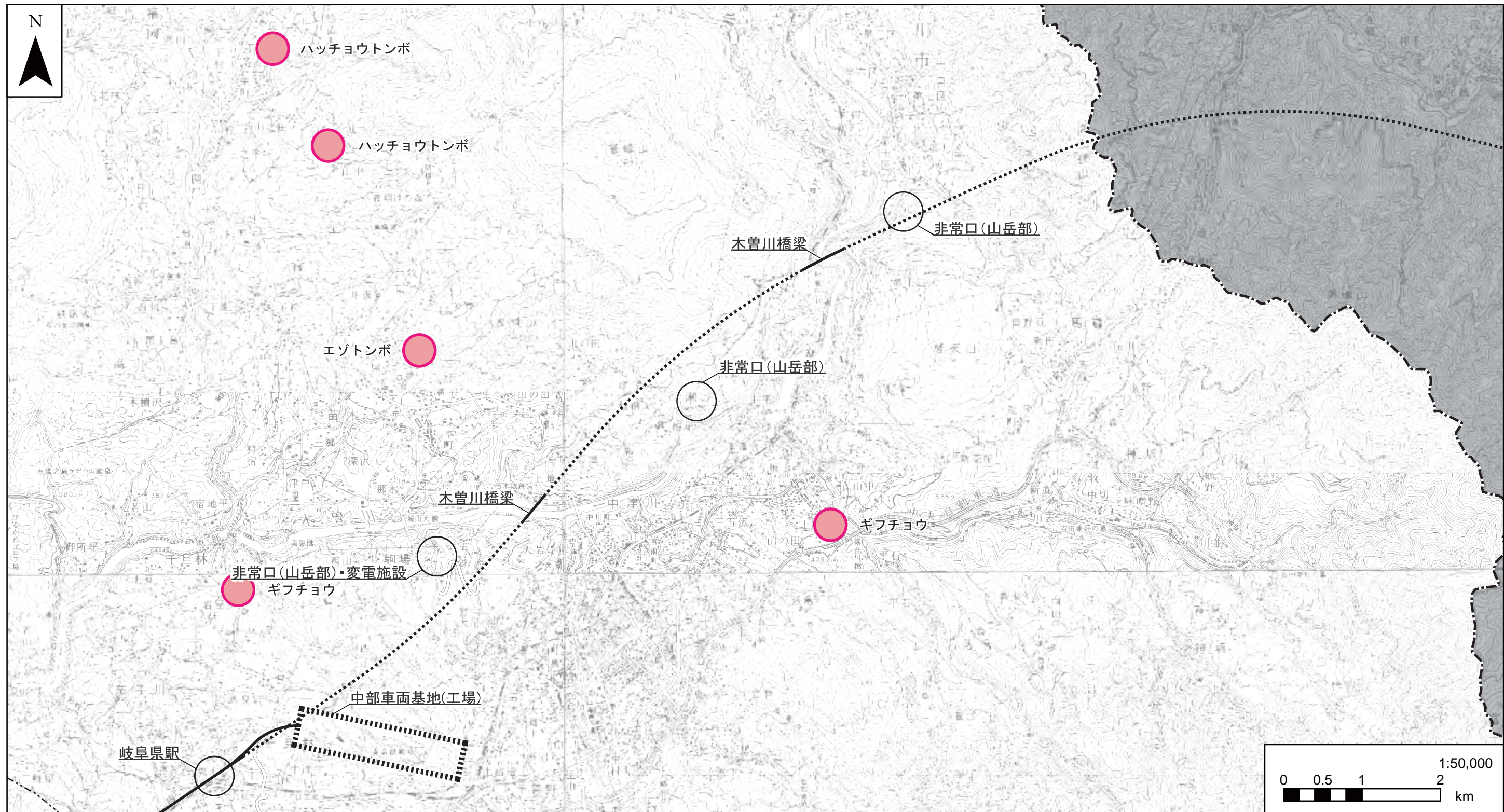
目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	⑤
トンボ目	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	-	-	B	NT	準絶滅危惧
	トンボ科	ハッチョウトンボ	-	-	指	-	-
カメムシ目	カメムシ科	ウズラカメムシ	-	-	B	-	-
チョウ目	アゲハチョウ科	ギフチョウ	-	-	指	VU	準絶滅危惧
3 目	4 科	4 種	0 種	0 種	4 種	2 種	2 種

注 1. 選定基準

- ①: 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)に定められた種(特天: 特別天然記念物、天: 天然記念物)
- ②: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成 4 年、法律第 75 号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種
- ③: 「第 2 回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」(昭和 56 年、環境庁)に掲載されている種指: 指標昆虫類、B(特定昆虫類のうち選定基準 B のもの): 分布域が国内若干の地域に限定されている種
- ④: 「環境省第 4 次レッドリスト」(平成 24 年、環境省発表)に掲載されている種
EX: 絶滅種、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧ⅠA 類、EN: 絶滅危惧ⅠB 類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑤: 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版—岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版—」(平成 22 年、岐阜県環境生活部)に掲載されている種
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧ⅠA 類、絶滅危惧ⅠB 類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、情報不足、絶滅のおそれのある地域個体群、要注目種

注 2. 表中の「-」は、該当するものがないことを示す。

資料: 「日本の重要な昆虫類 東海版」(昭和 55 年、環境庁)
「第 2 回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」(昭和 56 年、環境庁)



凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- - - 市区町村境

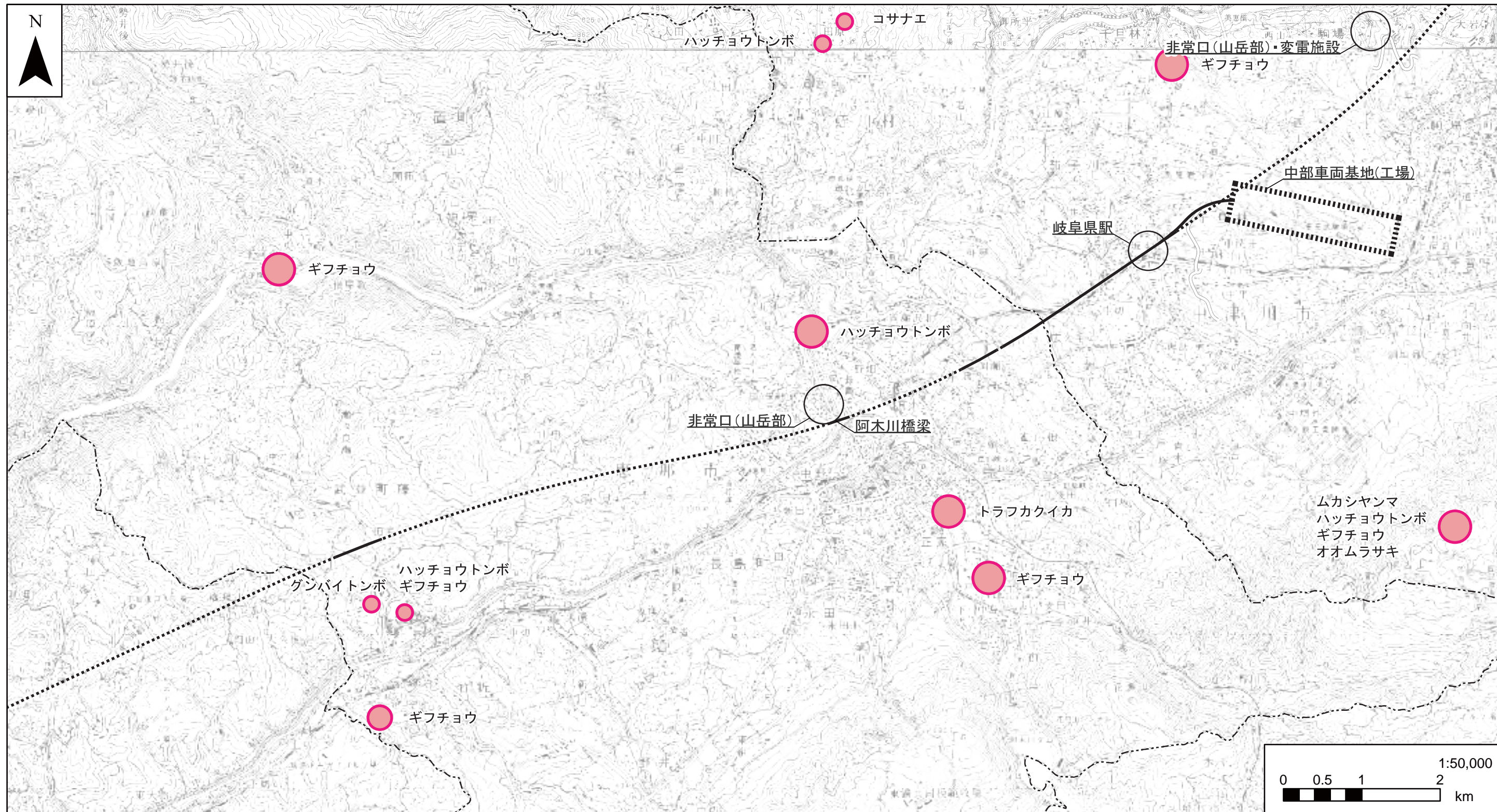


昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-17(1) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



凡例

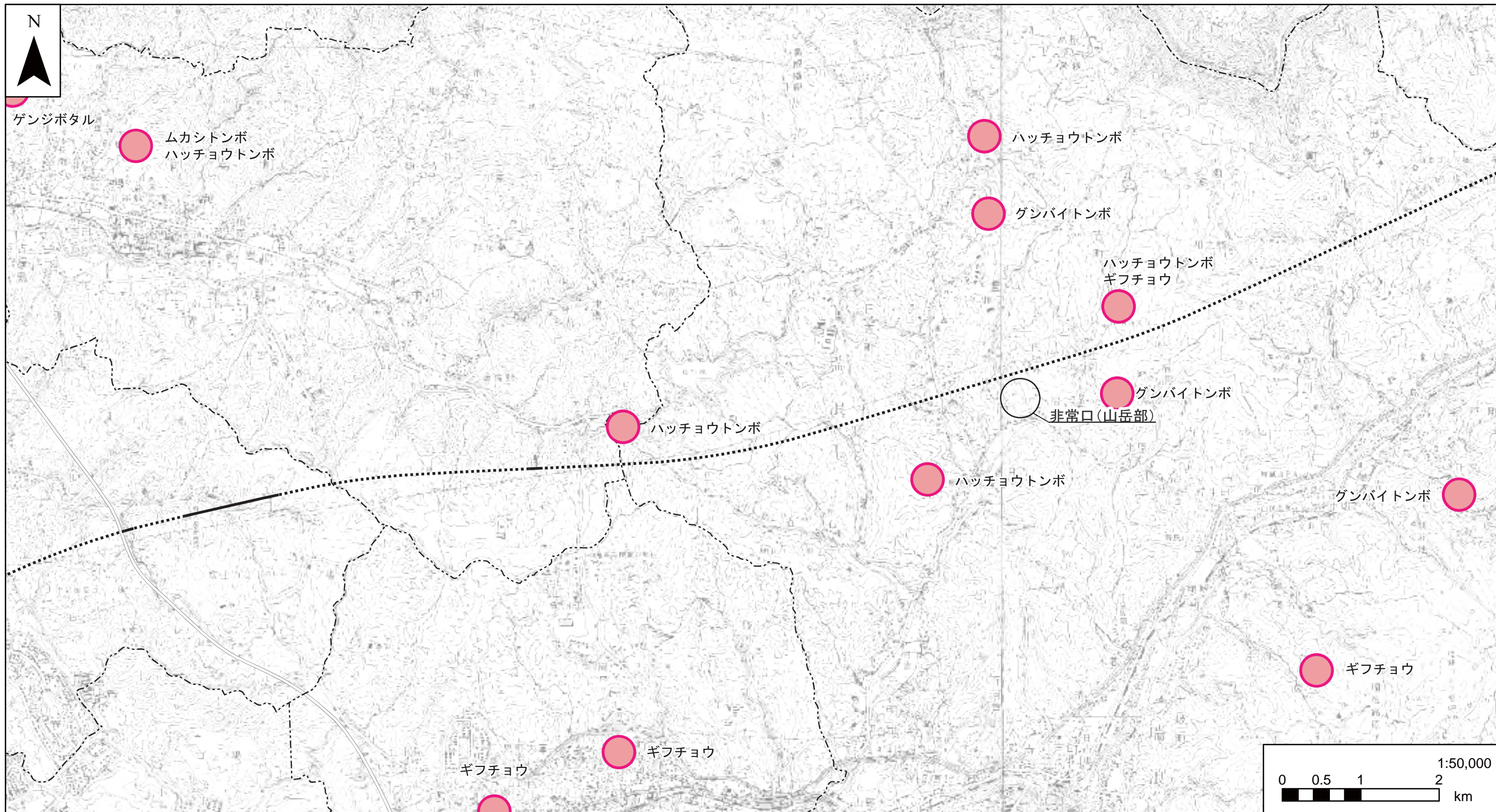
- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境



注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-17(2) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



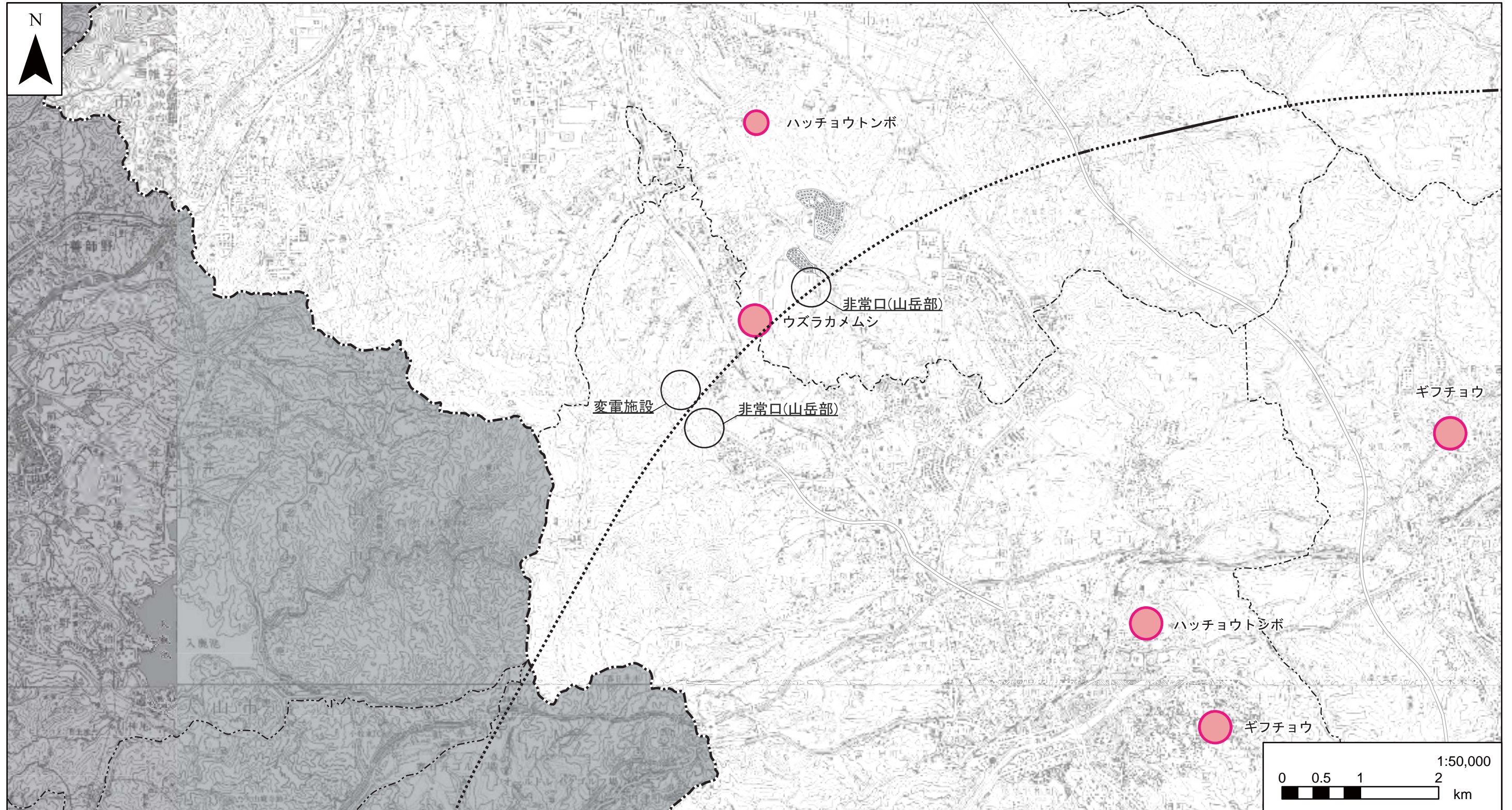
凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境
- 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-17(3) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



凡例

- 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- - - 市区町村境



昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-17(4) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図

(魚 類)

「第2回自然環境保全基礎調査 岐阜県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)によると、対象事業実施区域及びその周囲では重要な魚類は報告されていない。

県レッドによると、岐阜県内で把握された魚類は104種である。また、岐阜県内で絶滅の危機に瀕している種(絶滅危惧Ⅰ類)はイタセンパラ、ネコギギ等の8種、絶滅の危険が増大している種(絶滅危惧Ⅱ類)はカマキリ(アユカケ)等の5種、存続基盤が貧弱な種(準絶滅危惧)はスナヤツメ南方種、ヤリタナゴ、ホトケドジョウ、ドンコ等の14種、評価するだけの情報が不足している種(情報不足)はツチフキ、オオヨシノボリ等の4種である。

2) 植 物

ア. 重要な種及び群落の状況

「第3回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(岐阜県)」(昭和62年、環境庁)によると、岐阜県の植生は、県南部の平野部が暖温帯に属し、常緑のカシ類を代表する自然植生が分布する常緑広葉樹林帯となっている。これより北進し、海拔高度を増すに伴って冷温帯、亜高山帯、高山帯に移行し、植生は各々落葉広葉樹林、針葉樹林、針葉低木林(ハイマツ低木林)に変わっていく。岐阜県の現存植生は、大部分が代償植生によって占められ、自然植生の分布は、飛騨山脈、白山山脈及び恵那山系など、県境部に限定されている状態である。

「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物-岐阜県レッドデータブック-」(平成13年、岐阜県健康福祉環境部自然環境森林課(編))によると、岐阜県で確認記録のある植物種は約2,900種で暖地性の種から寒地性の種、低地の湿地・草地に生育する種から山地の常緑広葉樹林、落葉広葉樹林に生育する種まで多種多様となっている。このうち、岐阜県内で絶滅の危機に瀕している種(絶滅危惧Ⅰ類)はサクラソウ、ガガブタ等の24種、絶滅の危険が増大している種(絶滅危惧Ⅱ類)はミズスギ、ハナノキ、シデコブシ、サギソウ等の54種、存続基盤が貧弱な種(準絶滅危惧)はキキョウ、キンラン等の57種、評価するだけの情報が不足している種(情報不足)はバイカモ、イヌセンブリ等の54種の計189種である。

対象事業実施区域及びその周囲の現存植生図は図4-2-1-18に、重要な植物等の分布状況は図4-2-1-19に示すとおりである。

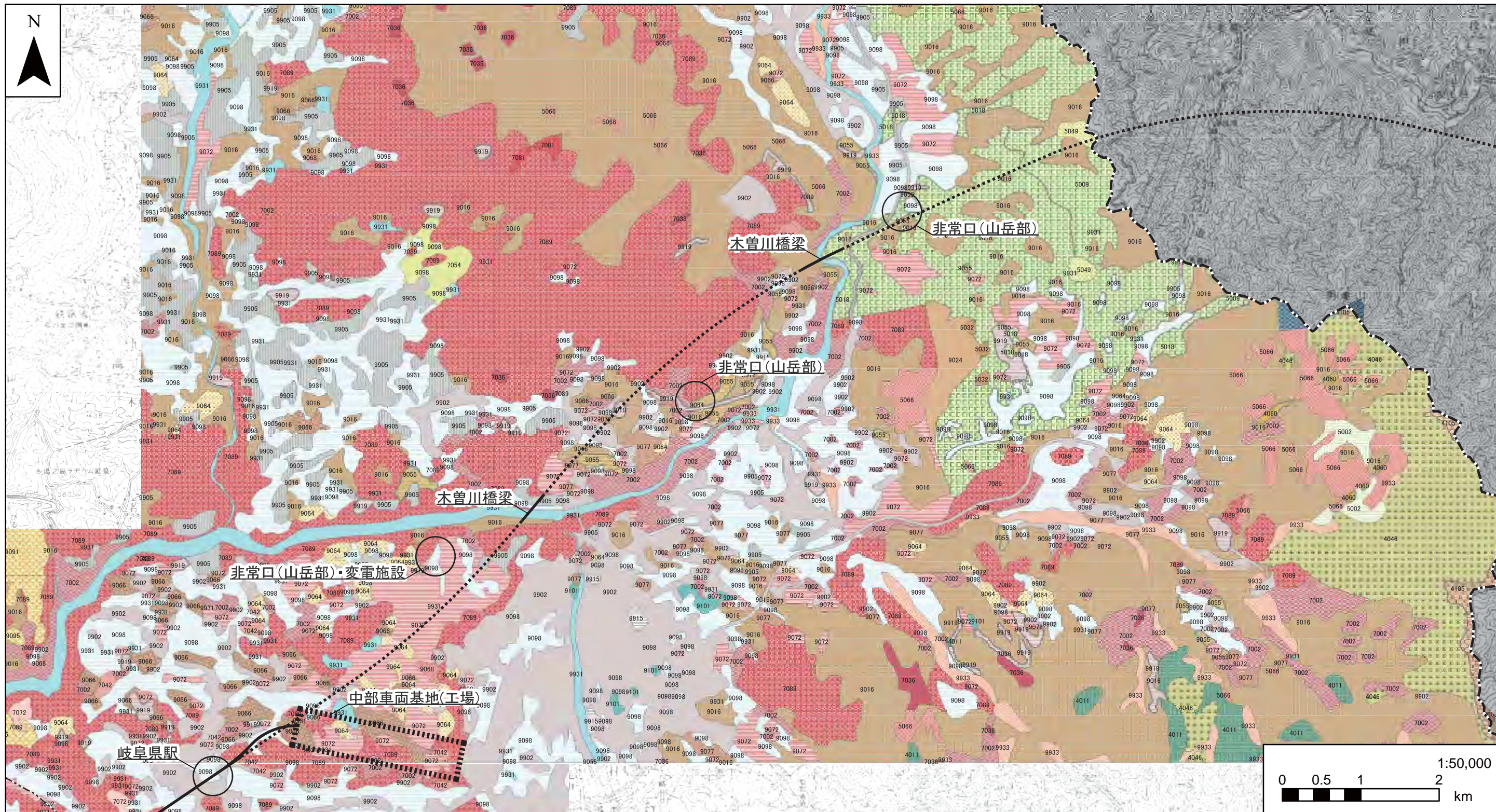
対象事業実施区域及びその周囲は、丘陵地の森林や低地の耕作地で構成される里山環境が多いほか、東濃地域に多い湧水湿地が見られることから、水田雑草やため池内の水生植物の希少植物、ハナノキ、シデコブシ等の湿地性の植物等の生育の可能性が考えられる。

植生については、丘陵地の「モチツツジーアカマツ群集」、「コナラ群落」、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」等の樹林が主体となっている。丘陵内の盆地には、「水田雑草群落」、「畑地雑草群落」、「市街地」等が存在し、ため池と考えられる「開放水域」が点在する。また、対象事業実施区域の東側では、「ゴルフ場」が多く存在する。

天然記念物等の指定状況については、表4-2-1-63に示すとおりであり、国指定4件、県指定14件、市町指定36件の計54件の天然記念物が存在する。

巨樹・巨木林の存在状況については、表4-2-1-64に示すとおりであり、90の巨樹・巨木林が存在する。

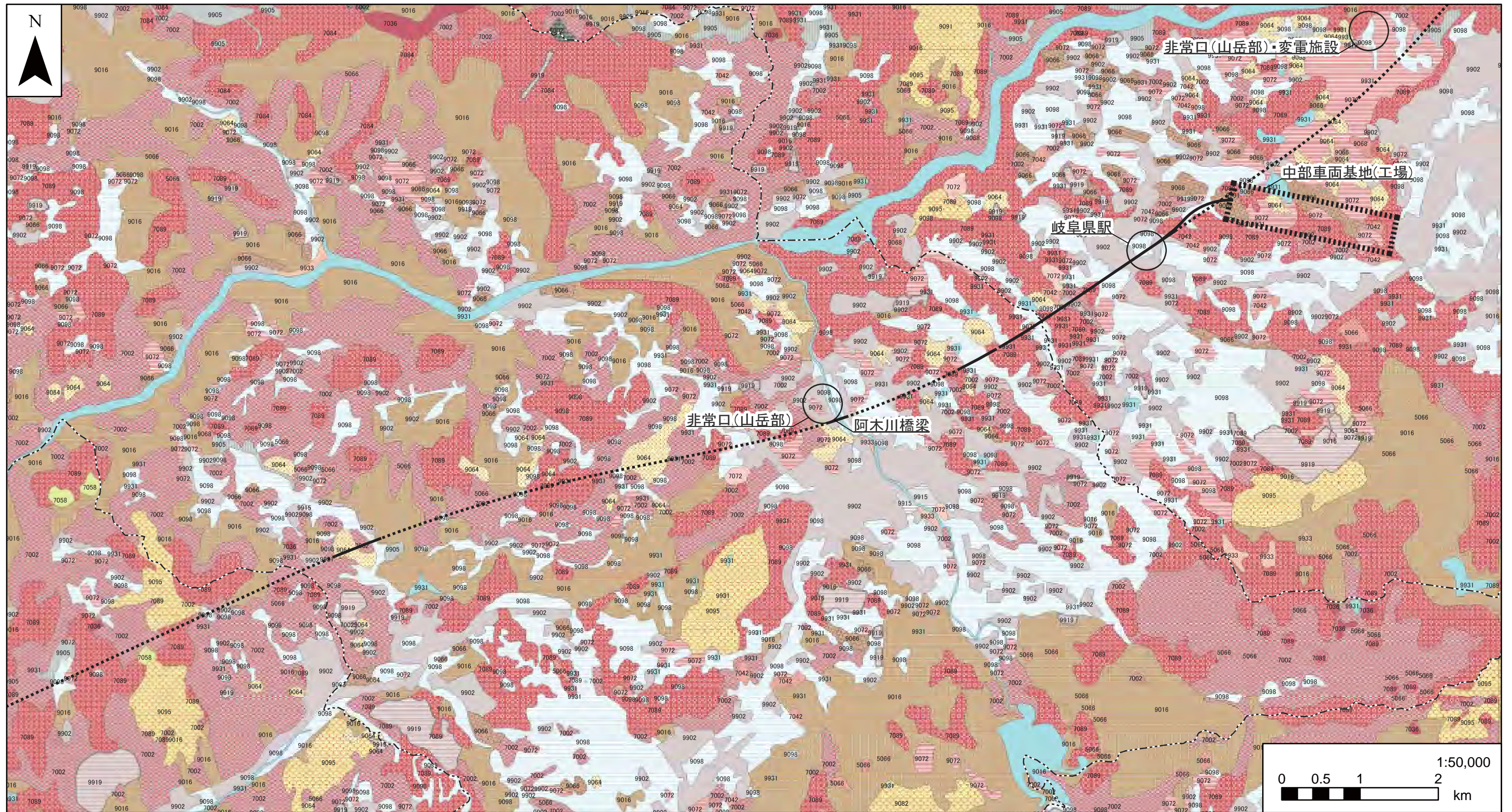
特定植物群落の存在状況については、表4-2-1-65に示すとおりであり、「馬籠の湿原植生」等8つの特定植物群落が存在する。



凡例	
.....	計画路線 (トンネル部)
——	計画路線 (地上部)
---	県境
----	市区町村境
1002	高山低木群落
2031	ササ自然草原
3008	伐跡群落
4011	スズタケブナ群団
4015	ヤマボウシブナ群集
4030	ツガ・コナシゲ群集
4046	ヒノキ群落
4050	クロベ・ヒメコマツ群落
4060	ジュウモンジシダ・サワグルミ群集
4105	自然草原
5002	ブナ・ミズナラ群落
5009	クリ・ミズナラ群落
5018	カスミザクラ・コナラ群落
5032	アカマツ群落
5049	ススキ群団
5066	伐跡群落
6002	モミ・シキミ群集
7002	コナラ群落
7036	伐跡群落
7042	ササ・タケ群落
7054	ススキ群団
7081	アカマツ群落
7089	モチツツジ・アカマツ群集
9016	スギ・ヒノキ・サワラ植林
9024	カラマツ植林
9055	竹林
9064	落葉果樹園
9066	桑園
9068	茶畑
9072	畑地雑草群落
9077	ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落
9082	牧草地
9098	水田雑草群落
9101	休耕地雑草群落
9902	市街地
9905	緑の多い住宅地
9915	工場地帯
9919	造成地
9931	開放水域
9933	自然裸地

図4-2-1-18(1) 現存植生図

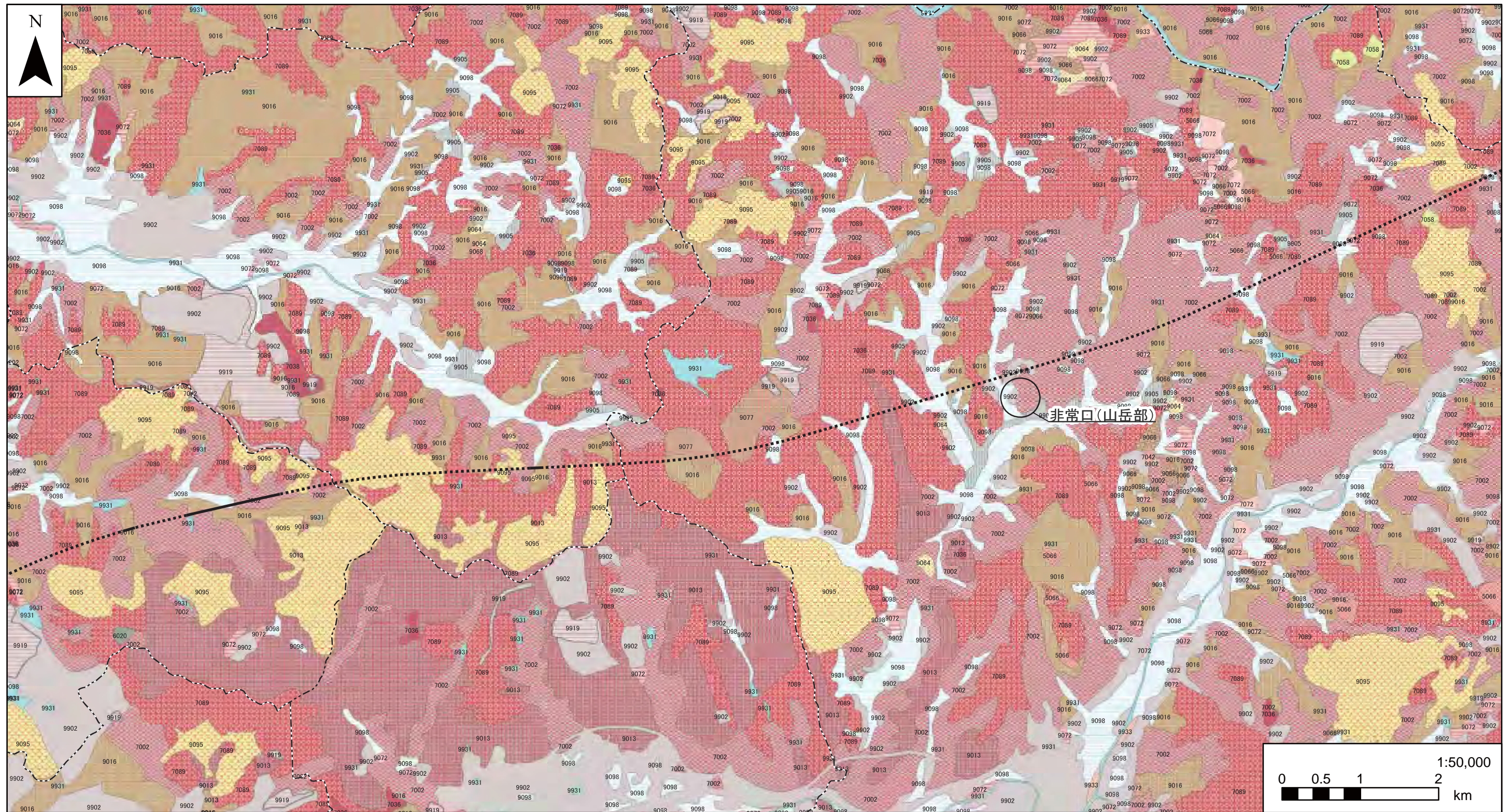
資料：「自然環境保全基礎調査（自然環境情報GISデータ 第2～5回植生調査重ね合わせ植生）」（平成25年6月現在、環境省）



凡例	
.....	計画路線（トンネル部）
——	計画路線（地上部）
---	県境
----	市区町村境
1002	高山低木群落
2031	ササ自然草原
3008	伐跡群落
4011	ズタケブナ群団
4015	ヤマボウシブナ群集
4030	ツガ・コナシゲ群集
4046	ヒノキ群落
4050	クロベ・ヒメコマツ群落
4060	ジュウモンジシダー・サワグルミ群集
4105	自然草原
5002	ブナ・ミズナラ群落
5009	クリ・ミズナラ群落
5018	カスミザクラ・コナラ群落
5032	アカマツ群落
5049	ススキ群団
5066	伐跡群落
6002	モミ・シキミ群集
7002	コナラ群落
7036	伐跡群落
7042	ササ・タケ群落
7054	ススキ群団
7081	アカマツ群落
7089	モチツツジ・アカマツ群集
9016	スギ・ヒノキ・サワラ植林
9024	カラマツ植林
9055	竹林
9064	落葉果樹園
9066	桑園
9068	茶畑
9072	畑地雑草群落
9077	ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落
9082	牧草地
9098	水田雑草群落
9101	休耕田雑草群落
9902	市街地
9905	緑の多い住宅地
9915	工場地帯
9919	造成地
9931	開放水域
9933	自然裸地

図4-2-1-18(2) 現存植生図

資料：「自然環境保全基礎調査（自然環境情報GISデータ 第2～5回植生調査重ね合わせ植生）」（平成25年6月現在、環境省）

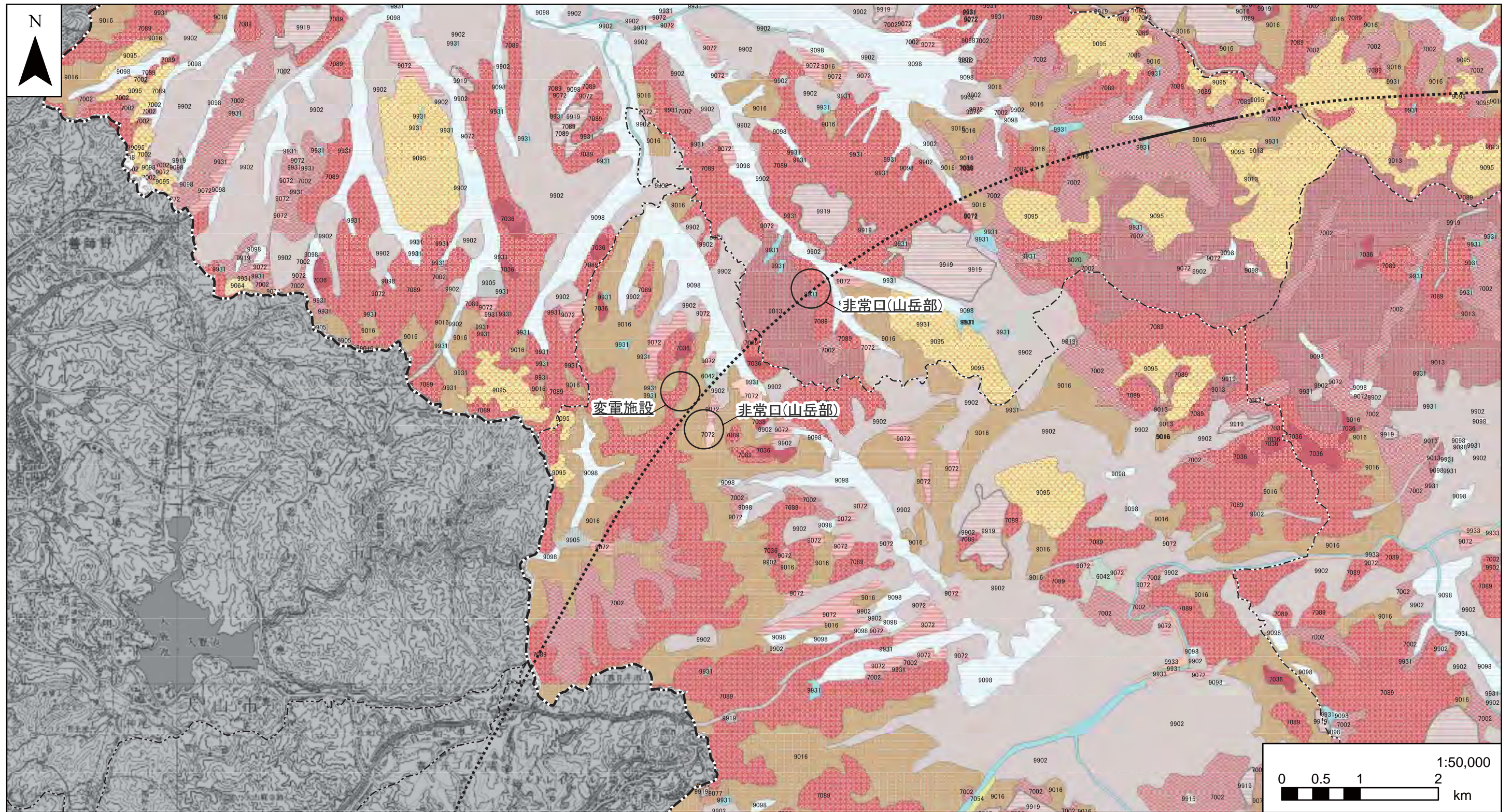


凡例

..... 計画路線（トンネル部）	1002 高山低木群落	4050 クロベーヒメコマツ群落	5049 ススキ群団	7081 アカマツ群落	9068 茶畑	9902 市街地
—— 計画路線（地上部）	2031 ササ自然草原	4060 ジュウモンジシダーサワグルミ群落	5066 伐跡群落	7089 モチツツジアカマツ群落	9072 畑地雑草群落	9905 緑の多い住宅地
- - - 県境	3008 伐跡群落	4105 自然草原	6002 モミシキミ群集	9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林	9077 ヒメムカシヨモギオオアレチノギク群落	9915 工場地帯
- - - 市区町村境	4011 スズタケブナ群団	5002 ブナミズナラ群落	7002 コナラ群落	9024 カラマツ植林	9082 牧草地	9919 造成地
	4015 ヤマボウシブナ群集	5009 クリミズナラ群落	7036 伐跡群落	9055 竹林	9098 水田雑草群落	9931 開放水域
	4030 ツガコナクスゲ群集	5018 カスミザクラコナラ群落	7042 ササ・タケ群落	9064 落葉果樹園	9101 休耕田雑草群落	9933 自然裸地
	4046 ヒノキ群落	5032 アカマツ群落	7054 ススキ群団	9066 桑園		

資料：「自然環境保全基礎調査（自然環境情報GISデータ 第2～5回植生調査重ね合わせ植生）」（平成25年6月現在、環境省）

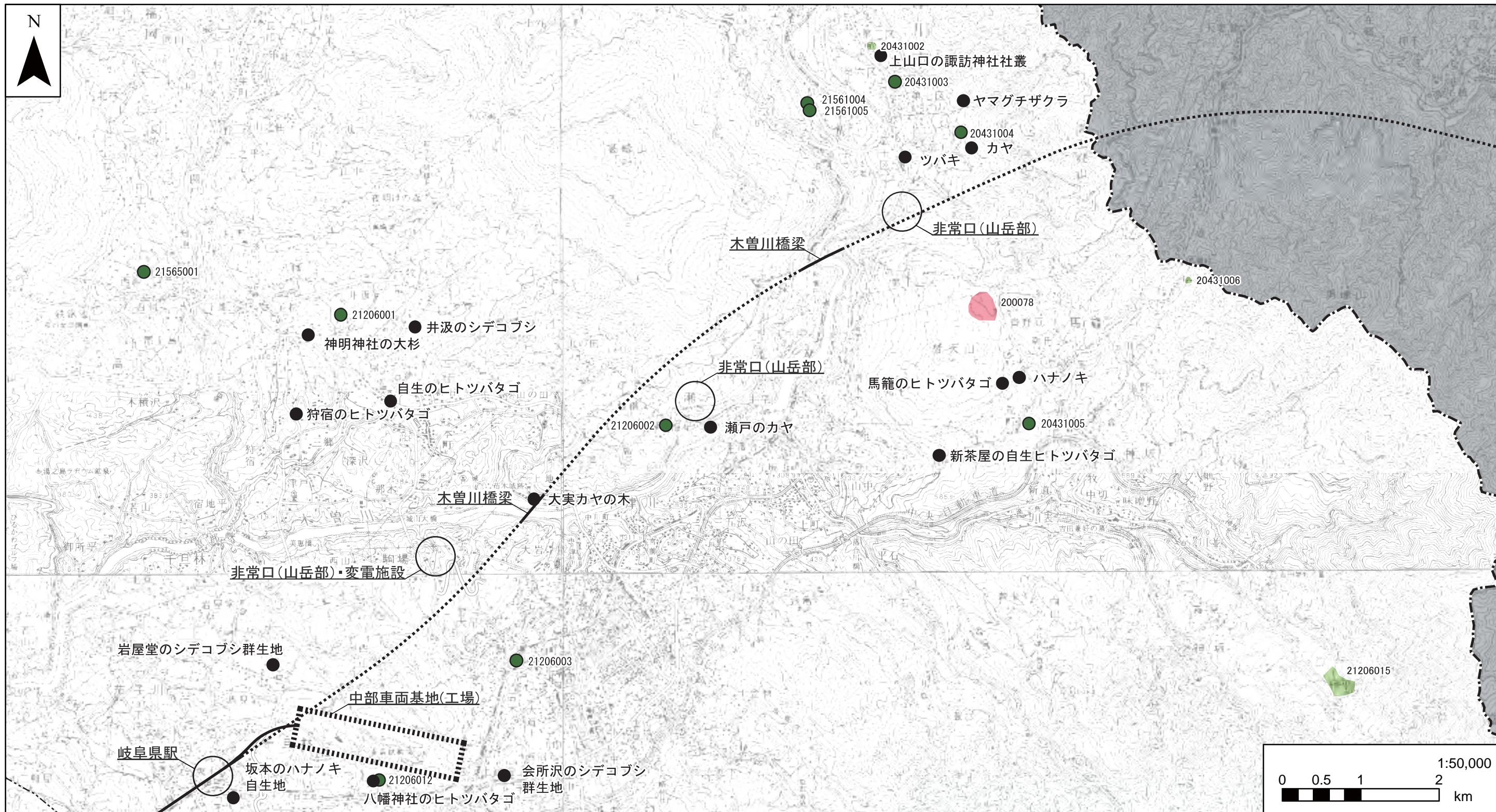
図4-2-1-18(3) 現存植生図



凡例	
.....	計画路線（トンネル部）
——	計画路線（地上部）
- - -	県境
----	市区町村境
1002	高山低木群落
2031	ササ自然草原
3008	伐跡群落
4011	スズタケブナ群団
4015	ヤマボウシブナ群集
4030	ツガ・コナシゲ群集
4046	ヒノキ群落
4050	クロベ・ヒメコマツ群落
4060	ジュウモンジシダー・サワグルミ群集
4105	自然草原
5002	ブナ・ミズナラ群落
5009	クリ・ミズナラ群落
5018	カスミザクラ・コナラ群落
5032	アカマツ群落
5049	ススキ群団
5066	伐跡群落
6002	モミ・シキミ群集
7002	コナラ群落
7036	伐跡群落
7042	ササ・タケ群落
7054	ススキ群団
7081	アカマツ群落
7089	モチツツジ・アカマツ群集
9016	スギ・ヒノキ・サワラ植林
9024	カラマツ植林
9055	竹林
9064	落葉果樹園
9066	桑園
9068	茶畑
9072	畑地雑草群落
9077	ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落
9082	牧草地
9098	水田雑草群落
9101	休耕田雑草群落
9902	市街地
9905	緑の多い住宅地
9915	工場地帯
9919	造成地
9931	開放水域
9933	自然裸地

図4-2-1-18(4) 現存植生図

資料：「自然環境保全基礎調査（自然環境情報GISデータ 第2～5回植生調査重ね合わせ植生）」（平成25年6月現在、環境省）

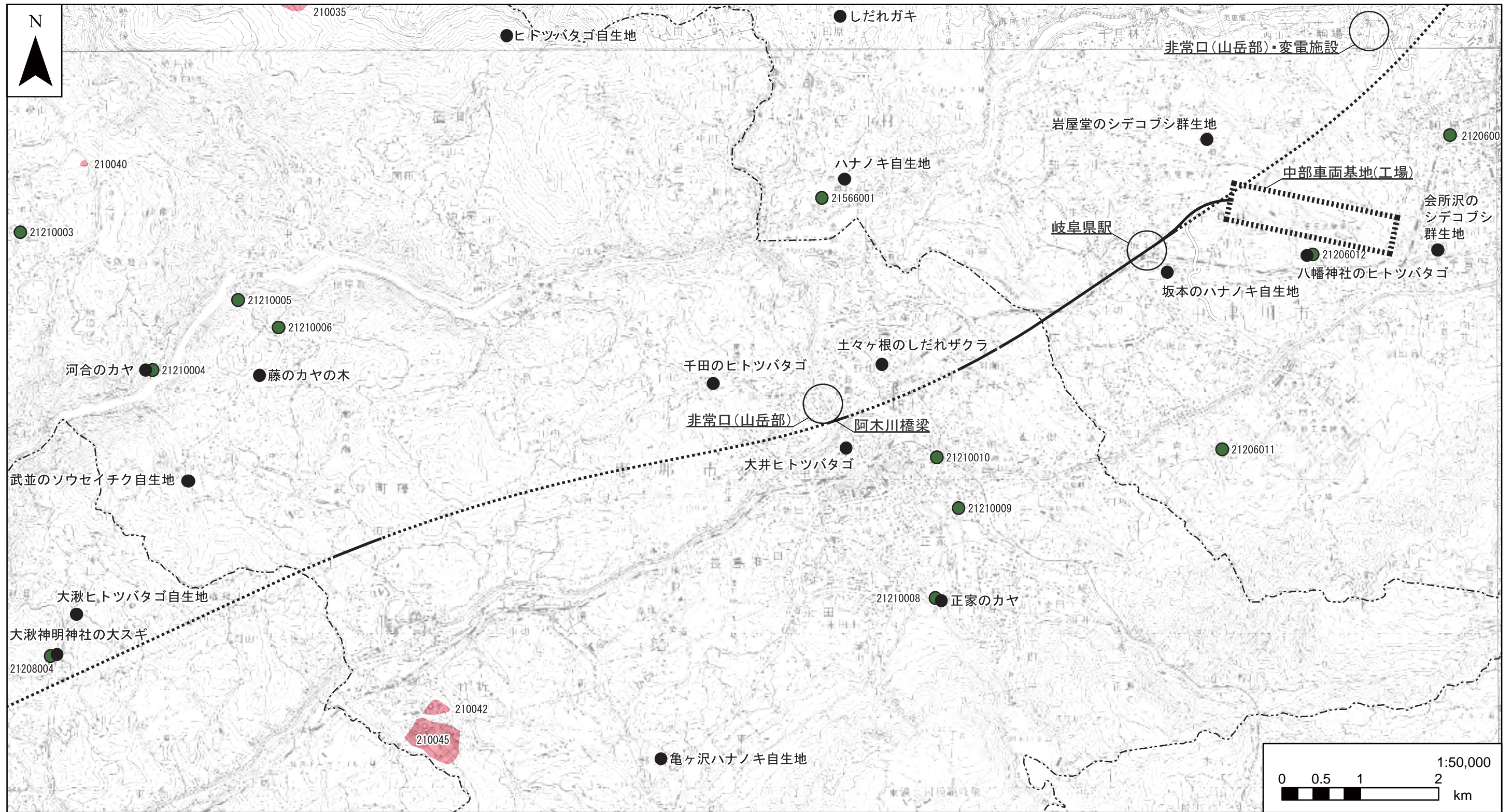


凡例

.....	計画路線（トンネル部）	■	特定植物群落 生育地域	注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
——	計画路線（地上部）	■	巨樹・巨木 分布地域	
---	県境	●	巨樹・巨木 分布地点	
----	市区町村境	●	天然記念物（植物）	

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版」（昭和54年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版」（昭和63年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（平成3年、環境庁）
「岐阜県文化財図録」（平成25年6月現在、岐阜県ホームページ）

図4-2-1-19(1) 重要な植物等の分布図

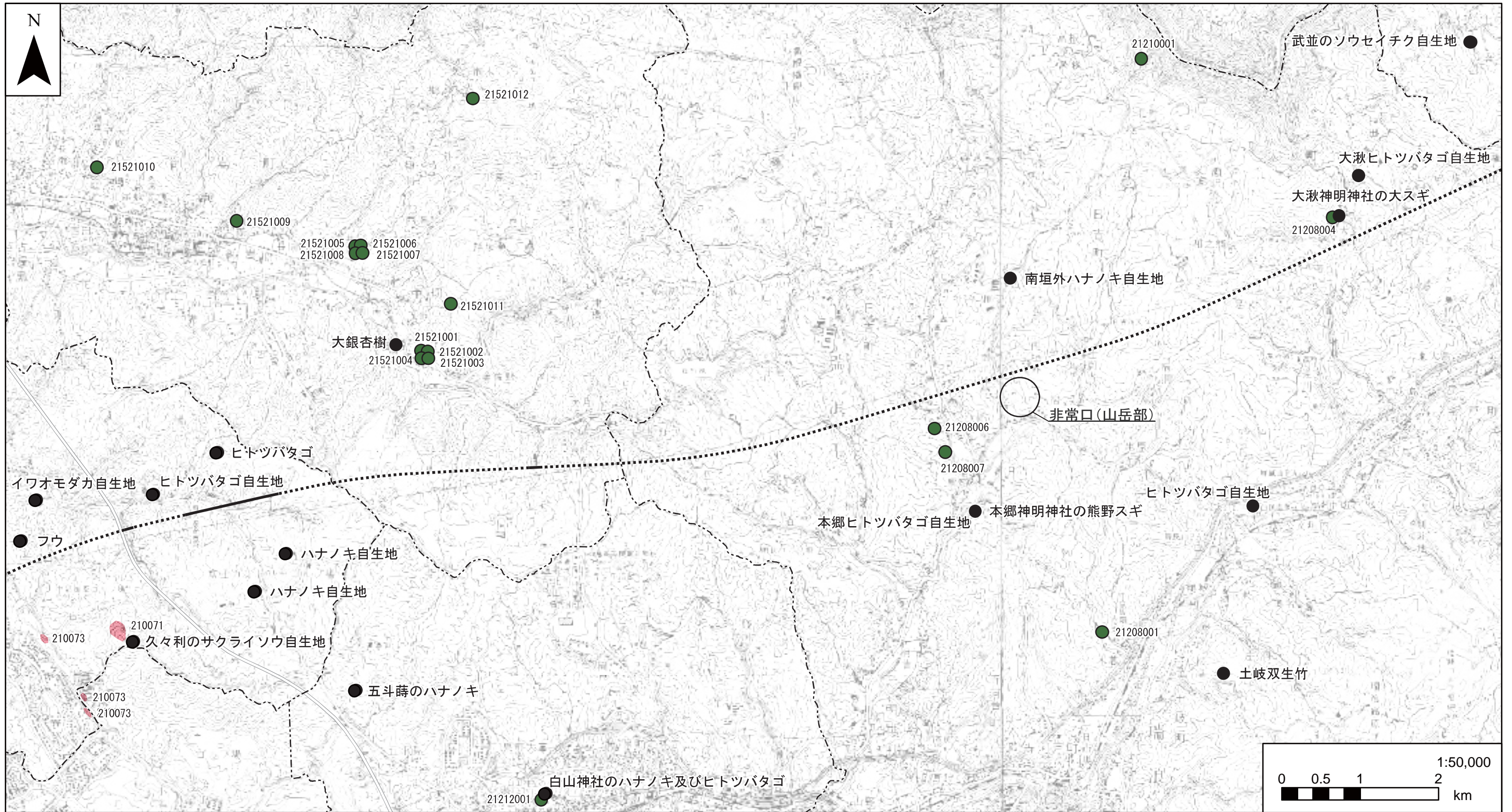


- 凡例
- 計画路線（トンネル部）
 - 計画路線（地上部）
 - 県境
 - 市区町村境
 - 特定植物群落 生育地域
 - 巨樹・巨木 分布地域
 - 巨樹・巨木 分布地点
 - 天然記念物（植物）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版」（昭和54年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版」（昭和63年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（平成3年、環境庁）
「岐阜県文化財図録」（平成25年6月現在、岐阜県ホームページ）

図4-2-1-19(2) 重要な植物等の分布図



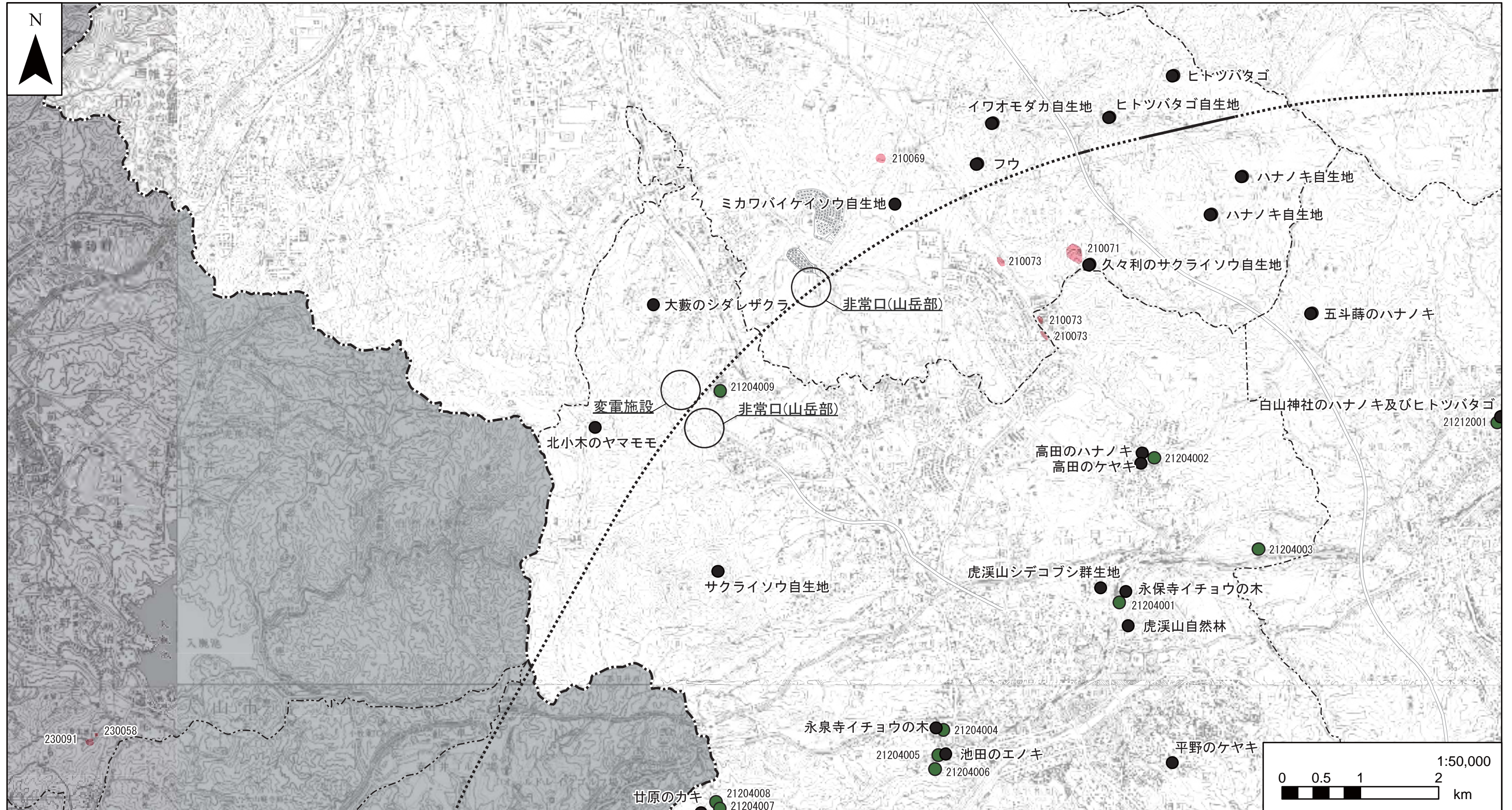
凡例

- | | | | |
|-----------|-------------|---|-------------|
| | 計画路線（トンネル部） | ■ | 特定植物群落 生育地域 |
| —— | 計画路線（地上部） | ■ | 巨樹・巨木 分布地域 |
| - - - | 県境 | ● | 巨樹・巨木 分布地点 |
| - · - · - | 市区町村境 | ● | 天然記念物（植物） |

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版」（昭和54年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版」（昭和63年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（平成3年、環境庁）
「岐阜県文化財図録」（平成25年6月現在、岐阜県ホームページ）

図4-2-1-19(3) 重要な植物等の分布図



凡例

.....	計画路線（トンネル部）	■	特定植物群落 生育地域	注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。
——	計画路線（地上部）	■	巨樹・巨木 分布地域	
- - -	県境	●	巨樹・巨木 分布地点	
- - - -	市区町村境	●	天然記念物（植物）	

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版」（昭和54年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版」（昭和63年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）
「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（平成3年、環境庁）
「岐阜県文化財図録」（平成25年6月現在、岐阜県ホームページ）

図4-2-1-19 (4) 重要な植物等の分布図

表 4-2-1-63(1) 対象事業実施区域及びその周囲における天然記念物（植物）

No.	指定	名称	所在地	指定年月日
1	国	坂本のハナノキ自生地	中津川市千旦林 1368-2	大正 9 年 7 月 17 日
2	国	ヒトツバタゴ自生地	中津川市蛭川 4129-53 恵那市笠置町姫栗 瑞浪市釜戸町森前、百田半原沢	大正 12 年 3 月 7 日
3	国	白山神社のハナノキ及び ヒトツバタゴ	土岐市泉中窯町	昭和 18 年 2 月 19 日
4	国	久々利のサクライソウ自生地	可児市久々利 2-2、2-3	昭和 53 年 8 月 15 日
5	県	上山口の諏訪神社社叢	中津川市山口 731-1、732-1	平成 18 年 9 月 5 日
6	県	瀬戸のカヤ	中津川市瀬戸 670-2	昭和 44 年 8 月 5 日
7	県	新茶屋の自生ヒトツバタゴ	中津川市落合 1459-1	昭和 44 年 8 月 5 日
8	県	大実カヤの木	中津川市瀬戸 1009-1	昭和 33 年 12 月 14 日
9	県	岩屋堂のシデコブシ群生地	中津川市千旦林 1596-4 他	平成 20 年 2 月 5 日
10	県	自生のヒトツバタゴ	中津川市苗木 1880-1	昭和 33 年 12 月 14 日
11	県	しだれガキ	中津川市蛭川 5215-1	昭和 47 年 6 月 17 日
12	県	ハナノキ自生地	中津川市蛭川 5353-1	昭和 47 年 6 月 17 日
13	県	大井ヒトツバタゴ	恵那市大井町古瀬 354-7	昭和 34 年 11 月 16 日
14	県	亀ヶ沢のハナノキ自生地	恵那市三郷町野井亀ヶ沢 1733-115	昭和 38 年 9 月 10 日
15	県	河合のカヤ	恵那市笠置町河合	昭和 45 年 4 月 7 日
16	県	正家のカヤ	恵那市長島町正家上垣外 84-1	昭和 45 年 4 月 7 日
17	県	武並のソウセイチク自生地	恵那市武並町藤 1423-2	昭和 36 年 6 月 19 日
18	県	土岐双生竹	瑞浪市土岐町桜堂他	昭和 31 年 3 月 28 日
19	県	大湫ヒトツバタゴ自生地	瑞浪市大湫町朴葉沢 780-4	昭和 34 年 7 月 23 日
20	県	大湫神明神社の大スギ	瑞浪市大湫町 398	昭和 31 年 6 月 22 日
21	県	甘原のカキ	多治見市甘原町水口 346	昭和 34 年 7 月 23 日
22	市	カヤ（山口）	中津川市山口 1902-4	平成元年 11 月 30 日
23	市	神明神社の大スギ	中津川市苗木 1112-1	昭和 41 年 9 月 14 日
24	市	井汲のシデコブシ	中津川市苗木 612-1-1	平成 18 年 5 月 31 日
25	市	ヤマグチザクラ（山口）	中津川市山口 1647-1	平成 9 年 7 月 10 日
26	市	ハナノキ（馬籠）	中津川市馬籠 4817-12	平成元年 8 月 24 日
27	市	ツバキ（山口）	中津川市山口 2316-2	平成元年 11 月 30 日
28	市	馬籠のヒトツバタゴ	中津川市馬籠 4797-182	昭和 63 年 10 月 18 日
29	市	八幡神社のヒトツバタゴ	中津川市千旦林 641	昭和 48 年 10 月 28 日
30	市	会所沢のシデコブシ群生地	中津川市手賀野 169-3、169-9、 169-51	昭和 58 年 8 月 18 日
31	市	狩宿のヒトツバタゴ	中津川市苗木 4547-6	平成 18 年 5 月 31 日
32	市	藤のカヤの木	恵那市武並町藤山足 950-1-1	昭和 48 年 9 月 17 日
33	市	土々ヶ根のしだれザクラ	恵那市大井町 2710-41	平成 6 年 4 月 1 日
34	市	千田のヒトツバタゴ	恵那市長島町久須見字天王前	平成 13 年 6 月 28 日
35	市	本郷神明神社の熊野スギ	瑞浪市日吉町 133	昭和 42 年 7 月 21 日
36	市	南垣外ハナノキ自生地	瑞浪市日吉町 3351	昭和 42 年 7 月 21 日
37	市	本郷ヒトツバタゴ自生地	瑞浪市日吉町 1280-3	昭和 42 年 7 月 21 日
38	町	大銀杏樹	御嵩町宿	昭和 32 年 11 月 1 日
39	市	五斗蒨のハナノキ	土岐市和泉町久尻 1429-8	昭和 51 年 1 月 23 日
40	市	湿地帯植物	土岐市泉町久尻字北山、泉町大富字 北山、泉町定林寺字市ノ沢、泉町河 合字賤洞	昭和 51 年 1 月 23 日
41	市	ヒトツバタゴ	可児市久々利	昭和 47 年 3 月 20 日
42	市	ハナノキ自生地	可児市久々利	昭和 47 年 3 月 20 日
43	市	ヒトツバタゴ自生地	可児市久々利柿下入会 3-110	昭和 47 年 3 月 20 日
44	市	イワオモダカ自生地	可児市久々利	昭和 47 年 3 月 20 日
45	市	フウ（久々利）	可児市久々利 1606-4	昭和 53 年 2 月 1 日
46	市	ミカワバイケイソウ自生地	可児市久々利柿下 578-1	平成 7 年 5 月 1 日
47	市	永保寺イチョウの木	多治見市虎溪山町 1-10	昭和 41 年 7 月 15 日
48	市	永泉寺イチョウの木	多治見市池田町 7-3	昭和 47 年 10 月 9 日

表 4-2-1-63(2) 対象事業実施区域及びその周囲における天然記念物（植物）

No.	指定	名 称	所 在 地	指定年月日
49	市	北小木のヤマモモ	多治見市北小木町浜井場 57-2	平成 15 年 3 月 26 日
50	市	高田のケヤキ	多治見市高田町 7-31	昭和 51 年 4 月 16 日
51	市	平野のケヤキ	多治見市平野町 2-12, 36	昭和 52 年 12 月 5 日
52	市	池田のエノキ	多治見市池田町 8	昭和 51 年 4 月 16 日
53	市	虎溪山シデコブシ群生地	多治見市虎溪山町 2	昭和 49 年 7 月 24 日
54	市	大藪のシダレザクラ	多治見市大藪町山下 神明神社	昭和 58 年 3 月 16 日
55	市	高田のハナノキ	多治見市高田町 8	昭和 51 年 4 月 16 日
56	市	虎溪山自然林	多治見市虎溪山町 1、弁天町 4	昭和 41 年 7 月 15 日
57	市	サクライソウ自生地	多治見市西山町	平成 8 年 1 月 25 日

資料：「岐阜県文化財図録」（平成 25 年 6 月現在、岐阜県ホームページ）
「中津川市の天然記念物」（平成 25 年 6 月現在、中津川市ホームページ）
「恵那市の天然記念物一覧」（平成 25 年 6 月現在、恵那市地域情報サイト）
「みずなみ文化財マップ」（平成 25 年 6 月現在、瑞浪市ホームページ）
「御嵩町統計書」（平成 25 年 6 月現在、御嵩町ホームページ）
「土岐市の文化財」（平成 25 年 6 月現在、土岐市ホームページ）
「可児市の指定文化財」（平成 25 年 6 月現在、可児市ホームページ）
「多治見市 指定文化財一覧」（平成 25 年 6 月現在、多治見市ホームページ）

表 4-2-1-64(1) 対象事業実施区域及びその周囲における巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢(年)	樹種名	幹周(cm)	樹高(m)	通称・呼称
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	485	35	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	410	35	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	380	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	340	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	380	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	ヒノキ	340	30	-
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	300	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	330	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	270	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	270	30	オタカラスギ
20431002	山口村(中津川市) 4区	伝承 300	スギ	270	-	-
20431003	山口村(中津川市) 6区	-	カヤ	300	15	-
20431004	山口村(中津川市) 8区	不明	カヤ	550	10	-
20431005	山口村(中津川市) 荒町諏訪神社	不明	スギ	304	20	-
20431006	山口村(中津川市) 峠 熊野神社	-	スギ	327	25	-
20431006	山口村(中津川市) 峠 熊野神社	-	スギ	300	25	-
21206001	中津川市 日比野	300以上	スギ	660(主幹)	15.8	-
21206002	中津川市 瀬戸	300以上	カヤ	400	15.8	瀬戸のカヤ
21206003	中津川市 津島神社	100~199	スギ	300	40	-
21206003	中津川市 津島神社	100~199	スギ	300	35	-
21206011	中津川市 坂本神社	100~199	スギ	300	30	-
21206011	中津川市 坂本神社	100~199	スギ	300	35	-
21206011	中津川市 坂本神社	100~199	スギ	300	30	-
21206012	中津川市 千旦林八幡神社	200~299	スギ	300	30	-
21206012	中津川市 千旦林八幡神社	200~299	スギ	300	35	-
21206012	中津川市 千旦林八幡神社	200~299	スギ	300	25	-
21206012	中津川市 千旦林八幡神社	200~299	スギ	300	30	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	339	25	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	314	24	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	377	26	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	377	26	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	339	24	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	314	24	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	339	25	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	ケヤキ	320	25	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	モミ	345	32	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	モミ	333	32	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	モミ	314	30	-
21206015	中津川市 けやき平	200~299	モミ	320	32	-
21561004	中津川市 坂下町 五社神明神社	300以上	スギ	450	35	-
21561005	中津川市 坂下町 五社神明神社	300以上	スギ	490	40	-
21565001	中津川市 福岡町 常磐神社	300以上	スギ	365	36	-
21566001	中津川市 蛭川 上野木	200~299	ヒノキ	337	21	奥渡の大ヒノキ
21210001	恵那市 奥戸	300以上	カシ	617	17	奥戸のかし
21210003	恵那市 五明	300以上	モミ	390	24	五明のもみ
21210004	恵那市 河合栃久保	300以上	カヤ	340	22	河合のかや
21210004	恵那市 河合栃久保	300以上	カヤ	450	22	河合のかや

注1. 表中の関係地区名については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を()内に記載した。

注2. 表中の「-」は、該当がないことを示している。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)」
(平成3年、環境庁)

表 4-2-1-64(2) 対象事業実施区域及びその周囲における巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
21210005	恵那市 藤	300 以上	スギ	415	40	弥五郎スギ
21210006	恵那市 藤	300 以上	カヤ	450	19	藤のかや
21210008	恵那市 正家	300 以上	カヤ	405	14	正家のかや
21210009	恵那市 宮ノ前	300 以上	スギ	490	38	-
21210009	恵那市 宮ノ前	300 以上	スギ	305	31	-
21210010	恵那市 長国寺	300 以上	スギ	330	29	-
21208001	瑞浪市 桜堂	300 以上	スギ	430	26	-
21208001	瑞浪市 桜堂	300 以上	スギ	330	20	-
21208004	瑞浪市	伝承 1200	スギ	1,100	60	-
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	350	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	320	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	320	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	370	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	380	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	380	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	340	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	スギ	400	50	神明神社の熊野杉
21208006	瑞浪市 本郷	伝承 700	ケヤキ	480	30	-
21208007	瑞浪市 本郷	300 以上	スギ	310	40	-
21521001	御嵩町 宿 小泉神社	300 以上	イチョウ	430	25	大銀杏樹 小泉神社 社社
21521002	御嵩町 宿	300 以上	アカシデ	320	25	小泉神社 社社
21521003	御嵩町 宿	300 以上	スギ	470	42	小泉神社 社社
21521004	御嵩町 宿	300 以上	スギ	420	34	小泉神社 社社
21521005	御嵩町 長岡 長岡観音堂	300 以上	スギ	380	48	-
21521006	御嵩町 長岡 長岡観音堂	300 以上	スギ	320	38	-
21521007	御嵩町 長岡 長岡観音堂	300 以上	スギ	370	43	-
21521008	御嵩町 長岡 長岡観音堂	300 以上	スギ	430	15	-
21521009	御嵩町 若宮 若宮八幡	200~299	アカガシ	580	16	-
21521010	御嵩町 比衣 龍現寺	300 以上	スギ	340	30	-
21521011	御嵩町 北切 正願寺	200~299	スギ	340	40	-
21521012	御嵩町 綱木 綱木弘法堂	200~299	カヤ	390	33	弘法様のカヤの木
21212001	土岐市 白山神社	伝承 1000	ハナノキ	410	5	-
21204001	多治見市 永保寺	伝承 650	イチョウ	429	24.6	永保寺の大いちょう
21204002	多治見市	100~199	ケヤキ	305	25.8	-
21204003	多治見市 白山神社	100~199	スギ	400	16	-
21204003	多治見市 白山神社	100~199	クヌギ	310	20	-
21204004	多治見市 永泉寺	360	イチョウ	390	32	永泉寺の大いちょう
21204005	多治見市	伝承 250	エノキ	330	22	-
21204006	多治見市	100~199	エドヒガン	310	13	-
21204007	多治見市 大龍禅寺	200~299	スギ	310	12	-
21204007	多治見市 大龍禅寺	200~299	スギ	402	24	-
21204008	多治見市 神明神社	300 以上	ヒノキ	310	26	-
21204009	多治見市	300 以上	ツクバネガシ	440	12	-

注 1. 表中の関係地区名については、資料図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を () 内に記載した。

注 2. 表中の「-」は、該当がないことを示している。

資料：「第 4 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」
（平成 3 年、環境庁）

表 4-2-1-65 対象事業実施区域及びその周囲における特定植物群落

番号	名称	所在地	指定状況			保護の現状
			第2回	第3回	第5回	
200078	馬籠の湿原植生	木曾郡山口村神坂 (中津川市)	-	B・F・H	B・F・H	-
210035	笠置山のカキノハグサ自 生地	恵那市中野方町笠 置山	G	G	G	-
210040	五明のレンゲツツジ自 生地	恵那市五明	D・G	D・G	D・G	-
210042	恵那のヒノキ植林地	恵那市	F	F	F	-
210045	恵那のアカマツ-モチツ ツジ群集	恵那市	C・E	C・E	C・E	-
210069	可児のシデコブシ自生地	可児郡可児町(可児 市)	A・B・C・D・ G	A・B・C・D・ G	A・B・C・D・G	-
210071	浅間山のサカキ-ヒイラ ギ群集	可児郡可児町浅間 山(可児市)	A・E・G	A・E・G	A・E・G	-
210073	浅間山下の湿地植生	可児郡可児町(可児 市)	A・B・D・G	A・B・D・G	A・B・D・G	-

注1. 表中の所在地については資料図書をそのまま記載しており、市町村合併前の旧地名等が記載されている場合がある。なお、現在の地名を()内に記載した。

注2. 指定状況の記号は選定基準を示す。選定基準は以下のとおりである。

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群

D: 砂丘、断崖、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G: 乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H: その他、学術上重要な植物群落

注3. 表中の「-」は、該当がないことを示している。

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版」(昭和54年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 東海版」(昭和63年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

3) 藻場・干潟・湿地の状況

環境省は、生物多様性保全の観点から重要な湿地を 500 箇所選定している。「日本の重要湿地 500」（環境省）によると、岐阜県内には 8 箇所選定されており、対象事業実施区域を含む周辺市町では、表 4-2-1-66 に示すとおり、3 箇所選定されている。

なお、対象事業実施区域を含む周辺市町に、藻場・干潟及びラムサール条約で指定されている湿地は存在しない。

表 4-2-1-66 重要湿地

市町	選定基準	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
恵那市	2	その他湿地	昆虫類	沖ノ洞・上ノ洞	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、グンバイトンボの生息が見られる。
瑞浪市	2	その他湿地	昆虫類	大湫	ハッチョウトンボ、ギフチョウ、グンバイトンボの生息が見られる。
可児郡御嵩町、各務原市	2	その他湿地	昆虫類	前沢湿地・須衛湿地	ゲンジボタル、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ハッチョウトンボなどの生息地。

注 1. 選定基準は以下のとおりである。

基準 1：湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・マングローブ林、藻場、サンゴ礁のうち、生物の生育・生息地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合。

基準 2：希少種、固有種等が生育・生息している場合。

基準 3：多様な生物相を有している場合。

基準 4：特定の種の個体群のうち、相当数の割合の個体数が生息する場合。

基準 5：生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、産卵場等）である場合。

資料：「日本の重要湿地 500」（平成 25 年 6 月現在、インターネット自然研究所ホームページ）

4) 生態系

ア. 生態系の状況

「生物多様性保全のための国土区分（試案）」（平成9年、環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲は本州中部太平洋側区域に属する。本州中部太平洋側区域は暖温帯に属し、年間降水量は中位で、冬季の積雪は少ない区域となっている。この区域の生物学的特性を示す植生はスタジイ、タブノキ等の照葉樹林である。また、この区域は動物相の固有性が高く、ニホンザル等の生息により特徴づけられる。

対象事業実施区域及びその周囲の生態系は、地形・地質、植生等から総合的に判断すると、①阿寺山地の山裾に位置し、一部、美濃高原（中津川市）の大起伏丘陵地を含む地域、②美濃高原の小起伏丘陵に位置する地域、③美濃高原の恵那市付近に分布する盆地及び恵那市の外縁に位置する平地や丘陵地にあたる地域の3地域に区分することができる。なお、生態系の模式図を図4-2-1-20に示す。

対象事業実施区域及びその周囲では、丘陵地の森林と低地の水田・畑地等の耕作地や河川・ため池で構成される山地の生態系、里地・里山の生態系及び市街地の生態系が成立している。これらの地域で成立する主な植生は「モチツツジ・アカマツ群落」、「コナラ群落」、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」等の樹林環境、「水田雑草群落」、「畑地雑草群落」、「ゴルフ場」等の草地環境、「開放水域」、「市街地」で構成される。従って、この地域に生育する植物種はコナラ等の落葉広葉樹、スギ、ヒノキ、サワラ、アカマツ等の針葉樹の木本植物、水田や畑地等の耕作地で見られるヤナギタデ、ミゾソバ、セリ、メヒシバ、ヨモギ、ナズナ等の草本植物である。また、この地域の特徴的な植物種として、丘陵部山裾から出る湧水に由来する湿地で見られるシデコブシ、ハナノキ等の木本植物がある。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、コウベモグラ等のモグラ類やアカネズミ、ヒメネズミ等のネズミ類で代表される小型哺乳類、キジ、ヒヨドリ、ホオジロ、ウグイス、ハシボソガラス等の鳥類、シマヘビ、ニホントカゲ等の爬虫類、アカハライモリ、トノサマガエル、ニホンアカガエル等の両生類、アキアカネ、ハグロトンボ、ハッチョウトンボ等のトンボ類、オオムラサキ、ゴマダラチョウ等のチョウ類、カブトムシ、カナブン等のコウチュウ類などに代表される昆虫類、シマヨシノボリ、オイカワ、ギンブナ等の魚類が考えられる。これらを餌とする生態系の上位性の種として、キツネ、タヌキ等の中型哺乳類、オオタカ、サシバ、ダイサギ等の鳥類が考えられる。

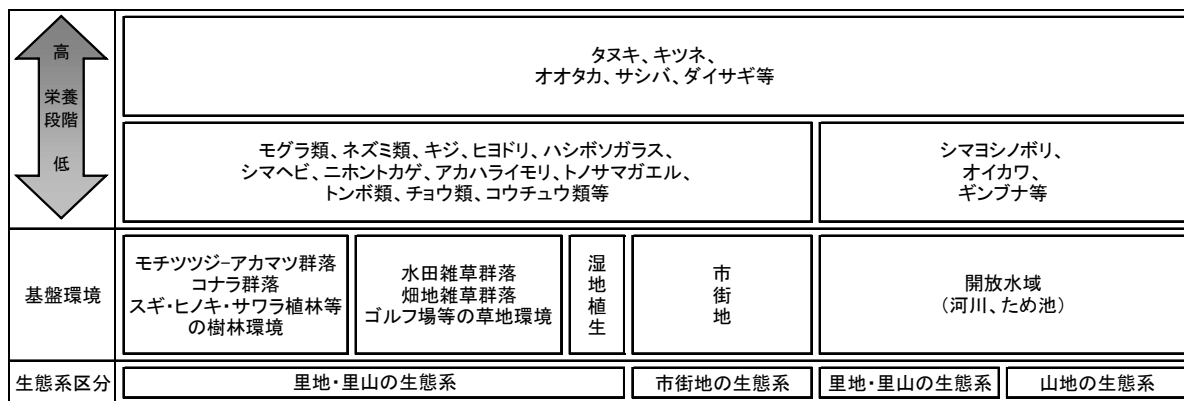


図 4-2-1-20 対象事業実施区域及びその周囲における生態系の模式図